

ワイドフォーマット  
マルチファンクションプリンター

# KIP 7170G

## 取扱説明書

Ver. A.0 2022.12.26

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読み下さい。  
お読みになった後も、大切に保管してください。



## はじめに

このたびはマルチファンクションプリンタ KIP 7170G をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、マルチファンクションプリンタ KIP 7170G の機能と操作方法、及び使用上の注意が記載されています。マルチファンクションプリンタ KIP 7170G の機能を充分ご理解いただき、より効果的にご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

また、お読みいただいた後も見やすい場所に大切に保管してください。

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

1. 電子機器や精密機器の近くには設置しないでください。  
電氣的な原因やプリント時の振動などにより、悪影響を与えることがあります。
2. テレビ、ラジオ等の電子機器の近くに設置した場合は、雑音やチラツキ等の受信障害が生じることがあります。  
別系統の電源を使用し、できるだけ離して設置してください。

エコマークとは、財団法人日本環境協会が定めた基準をクリアし、許可された商品に表示されるもので、日常生活に伴う環境への負荷の低減などを通じて環境保全に役立つと認められる商品に「エコマーク」を付けることにより、商品の環境的側面に関する情報を広く社会に提供し、環境にやさしくありたいと願う消費者による商品の選択を促すことを目的とします。

【エコマーク認定番号 第 17 155 010 号】



KIP 7170G は ENERGY STAR に適合したマルチファンクションプリンタです。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加できる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への傷害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

説明内容を見逃して誤った使い方をすると生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



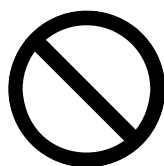
### 警告

この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を見逃して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



この記号は、行為を強制や指示する内容を告げるものです。



非常に高温の部分であり、この部分に触れるとやけどをする恐れがあることを告げるものです。



# 警告



1. アース線は必ず接続してください。感電または落雷時に危険です。
2. アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前におこなってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してからおこなってください。
3. アース接続がコンセントのアース端子に接続できない場合は、設置工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。



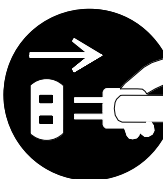
1. 電源は、下記の条件を満たすコンセントに接続してください。  
100V +/-10%、50/60Hz、15A 以上
2. 出来るだけ専用のブレーカーのある電源に接続してください。
3. 出来るだけコンセントの近くに設置してください。
4. 使用場所を変更するときは、必ずサービスマンに相談してください。
5. 同梱の電源コードのみご使用ください。この電源コードは別の機器への使用を禁じます。



1. 説明書で規定している部分以外のカバーやネジは外さないでください。機械の内部には、高温、高圧の部分があり、火傷や感電の恐れがあります。
2. 機械を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因になります。



1. 他の器具と併用する分岐コンセントには、接続しないでください。コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。
2. 電源コードの上に重いものを乗せたり踏んだりしてコードを傷つけないでください。火災や感電の原因になります。



1. 機械の上に花瓶、植木鉢、水の入ったコップ等の容器を置かないでください。こぼれた場合、火災や感電の原因になります。
2. 万が一使用中に異臭・異音等が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。





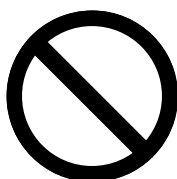
# 警告



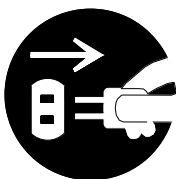
1. トナーまたはトナーカートリッジを直接火中に投入しないでください。火傷をする場合があります。
2. 使用済みトナーカートリッジはK I Pの純正パッケージで回収処理を行います。
3. トナーカートリッジは絶対に分解しないでください。
4. 飛散したトナーは、掃除機で吸引するか、水で湿らせた布でふき取ってください。
5. もしトナーが皮膚に付着した場合は、大量の水及び石鹸を使って十分に洗い流してください。
6. もしトナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
7. もしトナーが目に入った場合は、直ちに清浄な流水で15分以上洗い、医師の診察を受けてください。
8. もしトナーを飲み込んでしまった場合は、水でよく口の中をすすぎ多量の水を飲ませ医師の診察を受けてください。
9. 使用済みカートリッジには僅かにトナーが残っています。トナーが飛散しないように使い終わったカートリッジはキャップをしっかりと閉めてください。
10. トナーカートリッジは子供の手の届かない場所に保管してください。



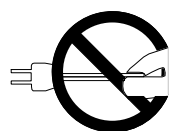
# 注 意



1. 湿気やほこりの多い場所、床や土台が不安定な場所に本機を設置しないでください。倒れたりして、けがの原因になります。
2. この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。



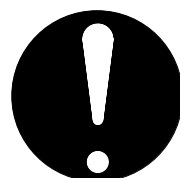
1. 機械を移動する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
2. 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



機内には高温の部分があります。紙詰まりの処理の際は、説明書に指定している場所以外には絶対触れないでください。火傷の原因になります。



狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気を行ってください。

---

# 第一章 ご使用の前に

---

	ページ
1. 1 設置場所の選定 .....	1- 2
1. 2 コピー原稿について(コピー禁止事項) .....	1- 3
1. 3 特長 .....	1- 4
1. 4 仕様 .....	1- 5
1. 4. 1 一般仕様 .....	1- 5
1. 4. 2 プリンター部仕様 .....	1- 6
1. 4. 3 スキャナー部仕様 .....	1- 7
1. 5 各部の名称とはたらき .....	1- 8
1. 5. 1 正面 .....	1- 8
1. 5. 2 背面 .....	1- 9
1. 6 原稿について .....	1-10
1. 6. 1 標準原稿 .....	1-10
1. 6. 2 特殊原稿 .....	1-10
1. 6. 3 使用不可な原稿 .....	1-11
1. 7 用紙について .....	1-14
1. 7. 1 使用できない用紙 .....	1-14
1. 7. 2 用紙の保管方法 .....	1-15
1. 7. 3 使用環境に応じた用紙の取扱方法 .....	1-16

# 1. 1 設置場所の選定

設置場所の条件として下記のような事項が挙げられます。



- ・電源  
100V (+/-10%)、15A 以上、50/60Hz のコンセントから単独で接続でき、本体をアースに接続できること。



- ・アース
  1. アースが確実にとれているコンセントに接続してください。
  2. プラグ接続機器のため、機械とコンセントは隣接した距離にあり、電源プラグを簡単に取り外し可能な近い場所にあること。
  3. 地面をアース対象とするときは、65cm 以上地中に埋めた銅棒に接続してください。
  4. 水道管をアース対象とするときは、水道局がアース対象物として認可した物であることを確認してください。
  5. ガス管には絶対に接続しないでください。

- ・温度は 10～32℃、湿度は 15～85% の範囲で使用してください。  
特に水道管の蛇口、湯沸かし器、加湿器、石油ストーブの近くは避けてください。



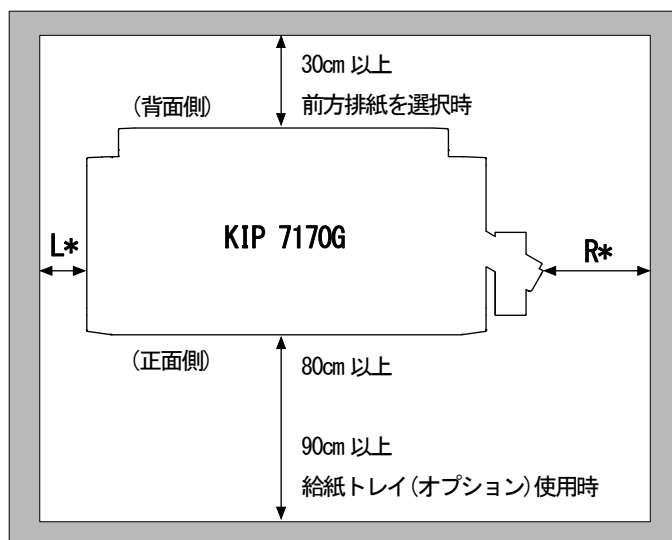
- ・火元の近く、ほこりの多い場所、アンモニアガスが発生する場所、直射日光が当たる場所は避けてください。  
やむを得ず直射日光が当たる場所に設置する場合は、窓にカーテン等をつけてください。  
特にエンジン部を開ける際に、感光ドラムに直射日光や強い光が当たらないようにしてください。



- ・部屋の換気を行ってください。  
本機を使用中に発生するオゾン量は人体に影響を及ぼさないレベルですが、換気の悪い部屋で長時間使用すると臭気が充満することがあります。  
作業の環境を快適に保つため、部屋の換気を行ってください。  
有害物質の放散に関して、エコマーク基準に基づく試験に合格しています。  
オゾンフィルターは定期的にサービスマンが交換します。

- ・本機の動作音は通常の会話をしている程度のレベルですが、事務所とは別室に設置することを推奨します。

- ・機械操作を行なうのに十分なスペースをとってください。(下図参照)  
機械が水平に保て、床強度が機械の重量に充分耐える床で使用してください。



※ $L + R = 35\text{cm}$   
(ただし R は L より多く取ること。)  
( $L = 5\text{cm}$  以上を推奨)

## 1. 2 コピー原稿について(コピー禁止事項)

コピー機で何をコピーしても良いとは限りません。

特に法律により、単にそのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、十分注意して下さい。

### 1. 法律で禁止されているもの

- (1) 通貨(紙幣、貨幣、銀行券など)政府発行の有価証券(国債、証券、地方債証券など)をコピーすることはできません。
- (2) 外国において流通する通貨、有価証券のコピーも禁止されています。
- (3) 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類をコピーすることは禁止されています。
- (4) 政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

### 2. 注意を要するもの

- (1) 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手、商品券など)、定期券、回数券などは、事業会社が業務に用いるための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- (2) 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、車検証明書、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしない方がよいと考えられます。

関係法律名	コピー禁止されているもの
1. 通貨及び証券模造取締法	通貨(紙幣、貨幣、銀行券など) 政府発行の有価証券(国債、証券、地方債証券など)
2. 外国において流通する貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造に関する法律	外国において流通する通貨、有価証券
3. 郵便切手類模造等取締法	未使用郵便切手、官製はがき
4. 印紙等模造取締法	政府発行の印紙、酒税法や物品税法で規定されている証紙類
5. 紙幣類似証券取締法	民間発行の有価証券(株券、手形、小切手、商品券など)、定期券、回数券など

### 3. 著作権の目的になっているもの

書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、及び写真など著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

## 1. 3 特長

KIP 7170G には、下記のような特長があります。

- (1) KIP 7170G は、スキャナ、コピー、プリンタとして使用できるマルチファンクションプリンタです。直感的に使用できる便利なソフトウェアを標準装備しており、KIP 7170G の多彩な機能を利用できます。(一部機能はオプション)
- (2) KIP 接触現像システムにより、鮮明な線画やグレースケール、非常に安定した黒ベタのプリントが可能になりました。また、廃トナーを発生させないのでトナーを 100%無駄なく使用できます。
- (3) 80mm/秒の速度で印字を行うことができます
- (4) プリント幅の最大は 914mm (A0 または 36 インチ)、最小は 210mm (8.5 インチ) です。  
また、プリント長の最大は 6m (A0 または 36 インチ幅の用紙の場合)、最小は 210mm (8.5 インチ) です。
- (5) 600dpi のプリントヘッドと最適なイメージプロセスシステムにより、高品位な画質を実現しました。
- (6) 「File-to-Print」「Scan-to-USB」(オプション) 機能を充実させるため、USB ポートを UI 操作部に設けました。
- (7) KIP 7170G のご利用環境により、前方排紙 (普通紙はサイズ問わず 50 枚まで)・後方排紙を選択できます。(後方排紙を受けるための装置はオプション)
- (8) 非接触 IC カードリーダー装置 (オプション) により強固なセキュリティと便利なアカウント機能を実現します。
- (10) UI 操作部の画面サイズを 10.4inch から 12.1inch に大型化しました。  
また、タッチ方式を感圧式からマルチタッチ静電容量方式にすることにより、よりスムーズな操作が可能になりました。

## 1. 4 仕様

### 1. 4. 1 一般仕様

項目	仕様
モデル名	KIP 7170G : 2 ロール MFP
本体	コンソール
最大消費電力	1,500W 以下 (スキャナおよびコントローラを含む)
低電力モード	国際エネルギースタープログラムに適合
騒音	アイドリング時 : 50db 以下 プリント中 : 57db 以下 (衝撃音を除く)
オゾン	0.05ppm 以下 (UL 規格による測定値)
寸法	UI 操作部、トレイを含む 1587mm (幅) × 704mm (奥行き) × 1315mm (高さ) UI 操作部、トレイを含まず 1346mm (幅) × 704mm (奥行き) × 1105mm (高さ)
重量	約 244kg
使用環境	温度範囲 : 10°C~32°C 湿度範囲 : 15%~85%RH
インターフェース	ネットワークインターフェース (10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000 BASE-T) USB 2.0 (5VDC Max)
電源	100V (+/-10%)、50/60Hz、13A

#### 注意

上記仕様は予告なく変更される場合があります。



## 1. 4. 2 プリンター部仕様

項目	仕様															
印字方式	静電複写方式															
感光体	OPC ドラム															
プリント速度	80mm/秒（連続プリント時1分あたりA0を3.4枚、A1横を5.7枚）															
プリントヘッド	LED アレイ															
解像度	600dpi × 2400dpi															
印字幅	最大幅：914mm（36”） 最小幅：297mm または 11”（ロール紙給紙時） 210mm または 8.5”（手差し給紙時）															
印字長さ	最大長さ 普通紙 ..... 6m（36” /A0 幅） 5x 各定型サイズ（36” /A0 幅未満） トレーシングペーパー ..... 2x 各定型サイズ フィルム ..... 1x 各定型サイズ  最小長さ：210mm  備考：プリントの長さが上記の最大長さを超える場合、画質や用紙の搬送性は保証致しません。															
給紙方式	ロール紙給紙（2本） 手差し給紙															
給紙トレイ（オプション） 対応用紙サイズ、向き	幅（ヨコ） 長さ (タテ) <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td>594</td> <td>420</td> <td>297</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>420</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>297</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </table>		594	420	297	210	420	○		○		297		○		○
	594	420	297	210												
420	○		○													
297		○		○												
ウォームアップタイム	4分30秒以内（23℃ 60%RH 定格電圧時、普通紙設定）															
ファーストプリント	22秒（A1横、前方排紙、23℃ 60%RH 定格電圧時、普通紙設定）															
定着方式	ヒートロール圧着方式															
現像方式	乾式非磁性一成分現像方式															
用紙	<table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>用紙の種類</th> <th>メーカー</th> <th>商品名（型式）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通紙</td> <td>桜井</td> <td>FL-N</td> </tr> <tr> <td>再生紙</td> <td>桜井</td> <td>スター再生紙</td> </tr> <tr> <td>トレーシングペーパー</td> <td>桜井</td> <td>GSN-75</td> </tr> <tr> <td>フィルム</td> <td>きもと</td> <td>PF-90</td> </tr> </tbody> </table>	用紙の種類	メーカー	商品名（型式）	普通紙	桜井	FL-N	再生紙	桜井	スター再生紙	トレーシングペーパー	桜井	GSN-75	フィルム	きもと	PF-90
用紙の種類	メーカー	商品名（型式）														
普通紙	桜井	FL-N														
再生紙	桜井	スター再生紙														
トレーシングペーパー	桜井	GSN-75														
フィルム	きもと	PF-90														
消耗品の保管環境	トナーは直射日光を避け、気温 0℃～35℃、湿度 35%～85%RH の環境で保管してください。															

### 注意

上記仕様は予告なく変更される場合があります。

### 1. 4. 3 スキャナー部仕様

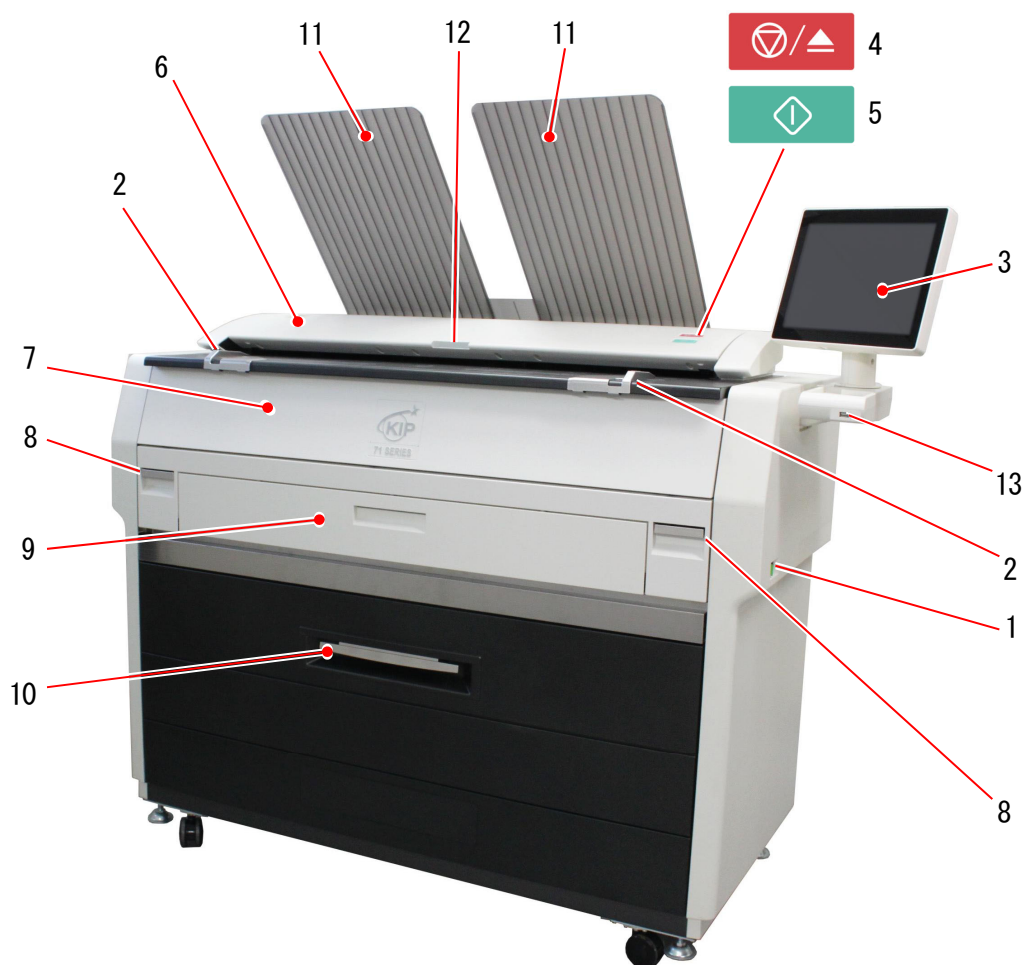
項目	仕様
読み取り方式	CIS方式 (A4幅 CISx5本)
光源	LED (R/G/B)
読み取り速度 (600dpi、標準モード) (最大)	モノクロ : 約 65mm/秒 グレー : 約 65mm/秒 カラー : 約 22mm/秒  備考 : 実際の速度はソフトウェアにより制限される場合があります。
原稿の読み取り面	上部 (読み取り面が上)
読み取り原点	中央
読み取り幅	最大 : 914.4mm 最小 : 210mm
読み取り長さ	最大 : 6,000mm 最小 : 210mm  備考 : 6,000mm を超える場合、画質や用紙の搬送性は保証されません。
光学解像度	600dpi
デジタル解像度	600, 400, 300, 200dpi
原稿搬送方式	シートスルー型
原稿厚み	最大 : 1.6mm 最小 : 0.05mm  備考 : 厚みが 0.25mm を超える非定型サイズ原稿の読み取り画質および搬送性は保証されません。

#### 注意

上記仕様は予告なく変更される場合があります。

# 1. 5 各部の名称とはたらき

## 1. 5. 1 正面図



No.	名称	機能
1	電源スイッチ	機械の電源を ON/OFF します。
2	原稿ガイド	原稿ガイドに沿って原稿をスキャナ部に送ります。
3	UI 操作部	タッチパネルで様々な操作を行うことができます。 (強く押ししたり先の尖った固いもので触れないでください。)
4	スキャン停止ボタン	読み取り中に押すと、原稿の搬送を停止させます。 原稿がセット状態にあるときは、原稿を手前に排出します。
5	スタートボタン	読み取りソフトウェア側で読み取りのオートスタート機能を使用しない場合、 原稿をセットした後このボタンを押して読み取りを開始させます。
6	スキャナ部	スキャンやコピーの際、スキャナ部で原稿を読み取ります。
7	トナーハッチ (原稿テーブル)	トナーカートリッジを交換する際に開けます。 また、スキャンやコピーの際はここに原稿を置いてスキャナ部に送ります。
8	エンジン部解除レバー	機械内部で紙詰まりが発生したとき、ここを開けて詰まった用紙を取り出します。
9	手差し給紙部	カット紙をここから手差しで給紙します。
10	給紙デッキ	ロール紙をセットします。
11	プリントトレイ	前方排紙されたプリントを受けます。
12	LED インジケータ	スキャナ部の状態を示します。 緑 点灯：レディ                      赤 点灯：エラー 緑 往復：読み取り動作中          赤 点滅：スキャナ部オープン、原稿詰まり
13	USB ポート	USB メモリを取り付けることができます。

## 1. 5. 2 背面図



No.	名称	機能
1	排紙カバー	定着器内で紙詰まりが発生したとき、ここを開けて詰まった用紙を取り出します。
2	COM ポート	折り機などの外部機器（オプション）を接続します。
3	USB ポート	サービスマンが使用します。 またオプション機器の接続にも利用できます。
4	LAN ポート	LAN ケーブルを接続してプリンタをネットワーク接続します。 （電話線は接続しないでください）
5	ブレーカ	AC 電流の供給を遮断することができます。
6	電源ソケット	電源コードを接続します。

## 1. 6 原稿について

読み取りを行う原稿は、下記の仕様を満たすものを使用してください。

厚み	0.05～1.6mm
幅	210～914.4mm
長さ	210～6,000mm

備考：

1. 厚みが0.25mmを超える非定型サイズ原稿の読み取り画質および搬送性は保証されません。
2. 6,000mmを越える原稿の読み取り画質および搬送性は保証されません。

### 1. 6. 1 標準原稿

「標準原稿」とは、次の仕様を持つものをいいます。

- (1) 幅が257.0mm以上965.2mm以下であること。
- (2) 長さが210mm以上6000mm以下であること。
- (3) 厚さが0.05mm以上0.25mm以下であること。
- (4) 形状が四角く、定型サイズであること。
- (5) 原稿タイプが次のいずれかであること。

普通紙

コート紙（中上級の普通紙に塗料でコーティングされているもの）

トレーシングペーパー

パンジートレスペーパー（フィルムの両面をトレーシングペーパーで挟んだもの）

フィルム

新聞紙

ボール紙

### 1. 6. 2 特殊原稿

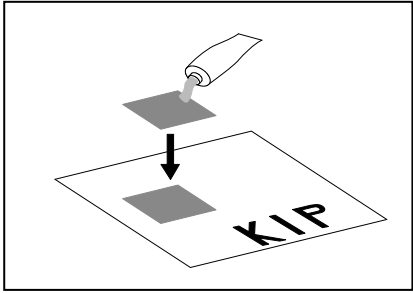
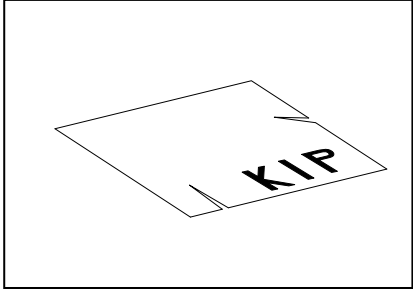
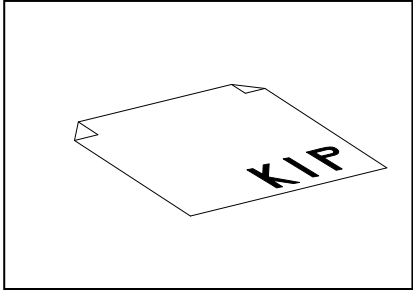
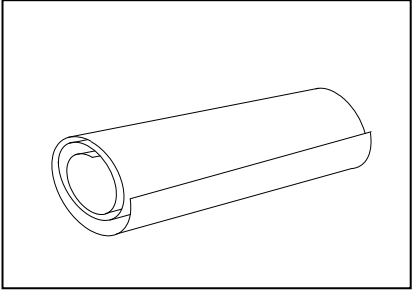
次の種類の原稿を「特殊原稿」といいます。

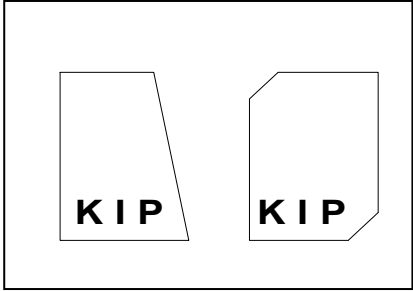
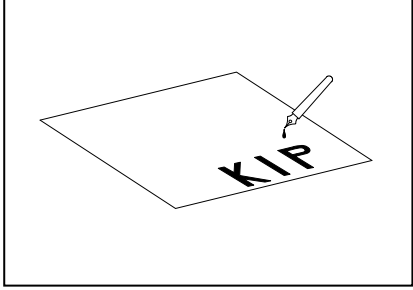
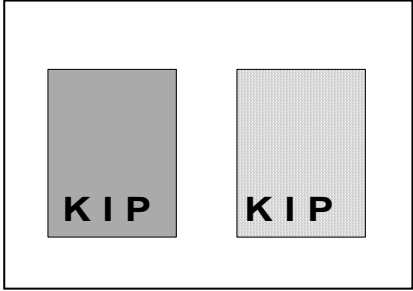
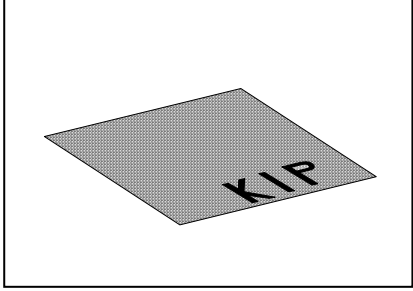
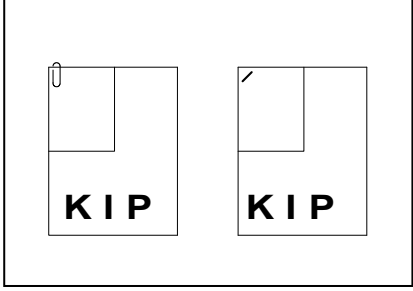
スキャンすることは可能ですが、**画質や原稿の搬送性は保証いたしません。**

- (1) 原稿タイプは問題ないが、厚さや形状に問題があるもの。
  - 本（小冊子）
  - ハンガー原稿
  - 貼り合わせ原稿
- (2) 次のタイプは、スキャナを傷めることはありませんが、お勧めできません。
  - 布
  - アルミケント紙

### 1. 6. 3 使用できない原稿

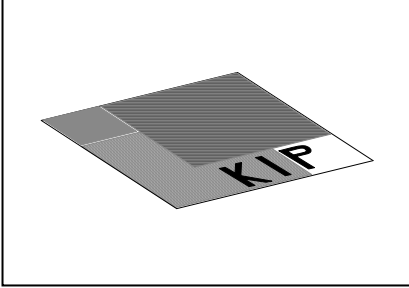
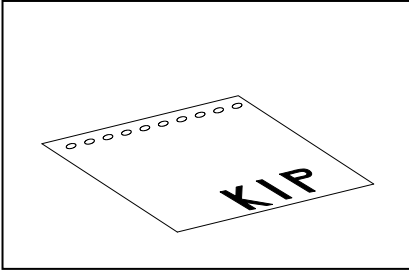
下記の原稿は、原稿自体が破損する、または、本体が損傷する恐れがあるので、使用しないでください。

糊付けしてある原稿	
裂けた原稿	
折れのある原稿（先端部）	
カールのきつい原稿 (カール直径 80mm 以下)	

<p>長（正） 方形ではない形の原稿</p>	
<p>インクの乾いていない原稿</p>	
<p>金属や布でできた原稿</p>	
<p>表面の粗い原稿 (裏カーボン紙等)</p>	
<p>クリップやホチキスで留めた原稿</p>	



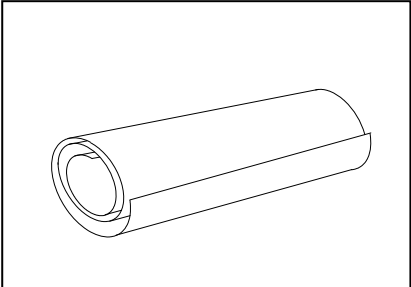
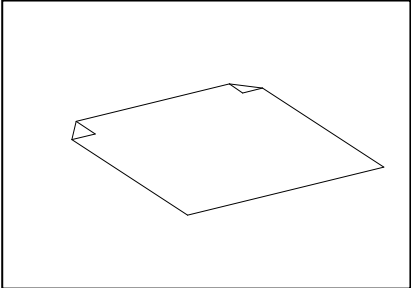
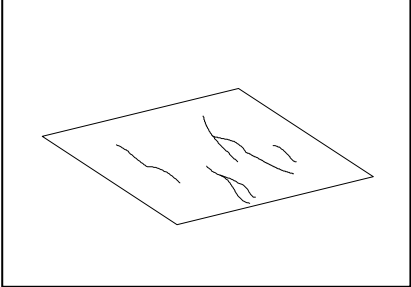
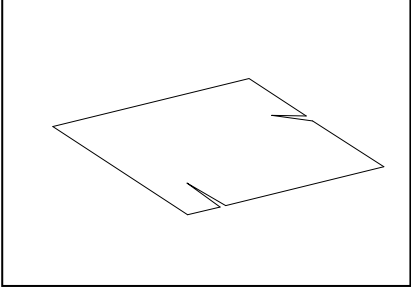
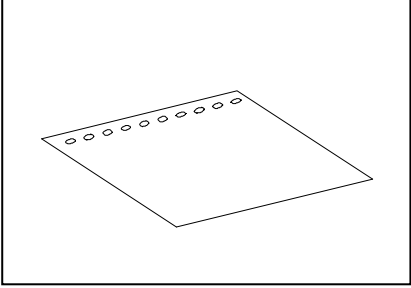
また、下記の原稿はキャリアシートを利用することで読み取りが可能です。  
但し、**画質や原稿の搬送性は保証いたしません。**

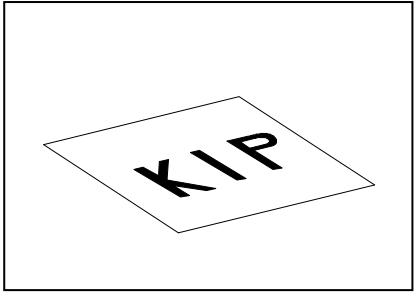
貼り合わせた原稿	
穴の開いた原稿	

# 1. 7 用紙について

## 1. 7. 1 使用できない用紙

プリンタ部を損傷する恐れがあるので、下記のような用紙は使用しないでください。

カールのきつい用紙 (カール直径 50mm 以下)	
折れのある用紙	
シワのある用紙	
裂けのある用紙	
穴の開いた用紙	

すでに印字を行った用紙	
表面がツルツルして滑りやすい用紙	
粘着性の強い用紙	
非常に薄く柔らかい用紙	
OHP フィルム	

### ⚠ 注意

- (1) ホチキスの針が付いた用紙や、アルミホイルのような導電性の用紙は火災の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- (2) 表面の粗い用紙を使用すると、画像濃度が低くなる場合があります。
- (3) カールのきつい用紙を使用すると画像不良が発生する場合があります。
- (4) 仕様で定められた用紙以外の用紙を使用すると、紙詰まり、画像不良、シワ等の原因となります。
- (5) 感熱紙、アート紙、アルミホイル、カーボン紙、導電紙のような、表面が特殊加工された用紙は使用しないでください。
- (6) 長時間外気（特に温度と湿度が極端に低い・高い環境）にさらされた用紙を使用しないでください。このような用紙を使用すると、紙詰まり、画像不良、シワ等の原因となります。
- (7) トレーシングペーパーは、環境等の条件に非常に影響を受けやすい素材です。  
トレーシングペーパーにプリントする際は、給紙デッキ1にセットすること、巻き表面約1周分をカットすることをおすすめします。  
(カット方法は、2-9 ページの [2.3 ロール紙を交換する] の手順9を参照してください)

## 1. 7. 2 用紙の保管方法

用紙を保管する際は下記の事柄に注意してください。

1. 直射日光を避けて保管してください。
2. 湿度の低い場所で保管してください。(70%RH 以下)
3. 平らな場所で保管してください。
4. 一度開封した用紙を保管する場合は、用紙が吸湿しないようポリ袋に入れて保管してください。

### 1. 7. 3 使用環境に応じた用紙の取り扱い方法

用紙を使用する環境に応じて、必要な処置をおこなってください。

湿度(%)	起こりうる問題	必要な処置
低 ↑ 40%	普通紙及びトレーシングペーパーにプリントすると、「画像の抜け」、「シワ」等の問題が発生する場合があります。	1. 加湿器で室内を加湿してください。 2. プリント終了後、本体から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	トレーシングペーパーにプリントすると、「画像の抜け」が発生する場合があります。	トレーシングペーパーにプリントする頻度が少ない場合、プリント終了後、本体からトレーシングペーパーを取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
70% ↓ 高		1日のプリント終了後、本体から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	普通紙及びトレーシングペーパーでプリントすると、「画像の抜け」が発生する場合があります。	プリントする頻度が少ない場合、プリント終了後、本体から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。
	普通紙及びトレーシングペーパーでプリントすると、「画像の抜け」、「シワ」等の問題が発生する場合があります。	プリント終了後、本体から用紙を取り出し、ポリ袋に入れて保管してください。

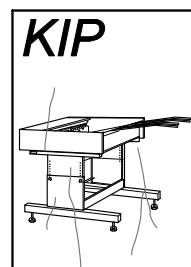
#### ⚠ 注意

湿度が極端に低い、または高い場合に、最も起こりやすい問題が「画像の抜け」と「シワ」です。

正常なプリント



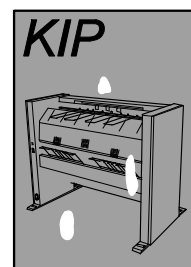
シワ



正常なプリント



画像の抜け



---

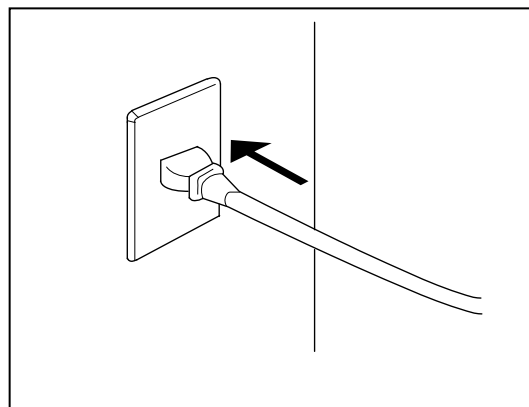
## 第二章 基本操作

---

	ページ
2. 1 機械の電源を入れる .....	2- 2
2. 2 機械の電源を切る .....	2- 4
2. 3 ロール紙を交換する .....	2- 5
2. 4 トナーカートリッジを交換する .....	2-11
2. 5 手差し用紙をセットする .....	2-16
2. 6 コピーする .....	2-17
2. 7 スキャンまたはコピーを停止する .....	2-20
2. 8 スリープモードを解除する .....	2-21

## 2. 1 機械の電源を入れる

1. 機械の電源コードを専用のコンセントに差し込みます。



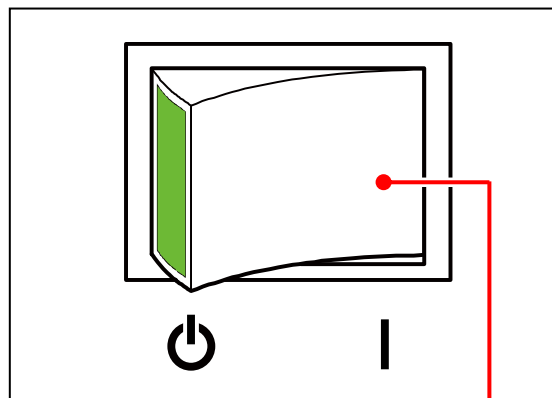
### ⚠ 警告

- (1) 同梱の電源コードのみご使用ください。この電源コードは別の機器への使用を禁じます。
- (2) 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- (3) 安全のため、本体をアースに接続してください。
- (4) アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- (5) 他の機器が接続されている電源に接続しないでください。プラグの温度が上昇して火災の原因になります。
- (6) 電源は次の条件を満たしているものとします。  
100V +/-10%、15A、50/60Hz

2. プリンター右側に電源スイッチがあります。「 | 」側を押して機械の電源を入れます。

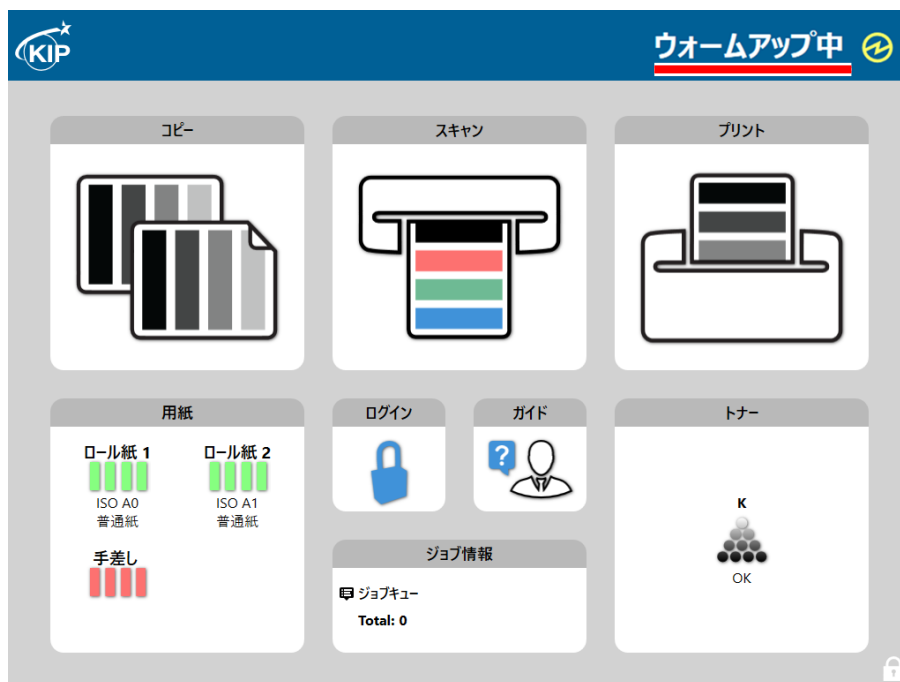


電源スイッチ



「 | 」側を押す

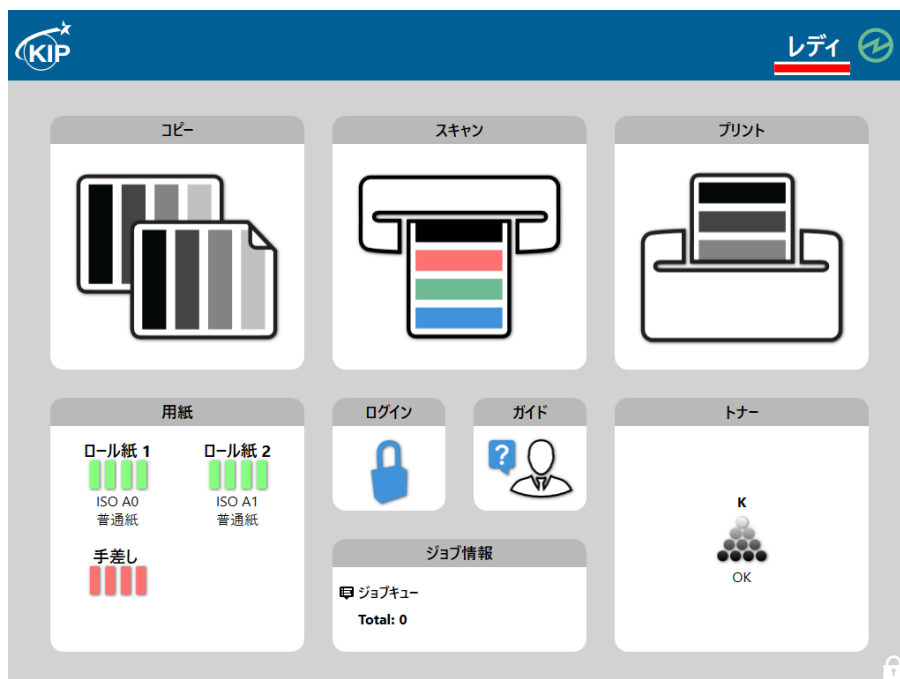
3. UI 操作部が起動し、約1分後にホーム画面が表示されます。  
プリンターの立ち上げ時はステータス表示部に“ウォームアップ中”が表示されます。



**注意**


ステータス表示部に“ウォームアップ中”が表示されている間はプリントを行うことができません。

4. 機械がプリント可能な状態になると、ステータス表示部に“レディ”が表示されます。



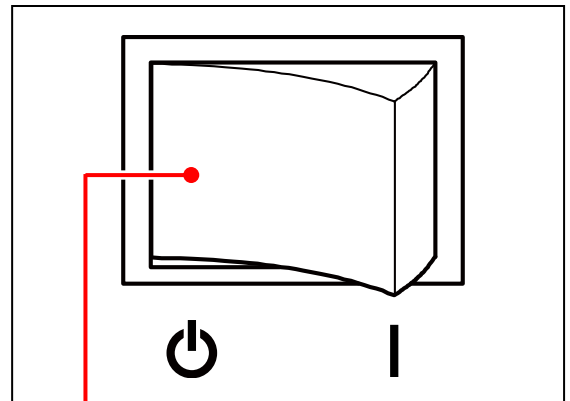



## 2. 2 機械の電源を切る

1. プリンターの右側に電源スイッチがあります。  
「」側を押して電源を切ります。





電源スイッチ



「」側を押す

### 注意

電源スイッチを“”側にすると、プリントエンジン及び操作部の電源は切れますが、本体に内蔵されたコントローラーユニットはまだ動作しています。

コントローラーユニットは電源スイッチを側にした後、約2分で自動的にシャットダウンします。

コントローラーユニットがシャットダウンするまでは絶対にプリンターの電源コードを抜かないでください。故障するおそれがあります。

## 2. 3 ロール紙を交換する

- (1) 使用中のロール紙がなくなると、UI 操作部にロール紙交換を促す表示が出ます。  
以下の手順に従ってロール紙を交換してください。  
(操作手順はUI 操作部にも表示されます)
- (2) この章では、給紙デッキ1にセットされたロール紙の交換を説明しています。  
特に注記がない限りは、給紙デッキ2も同様の手順で交換してください。

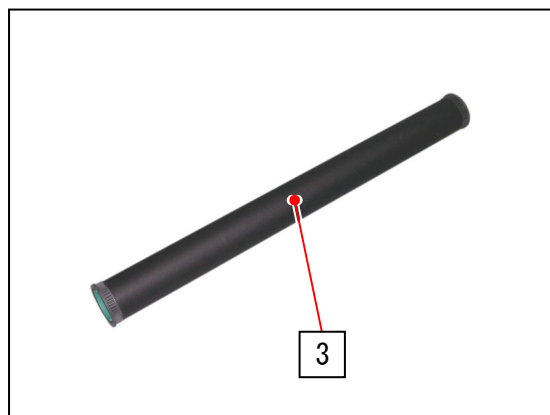
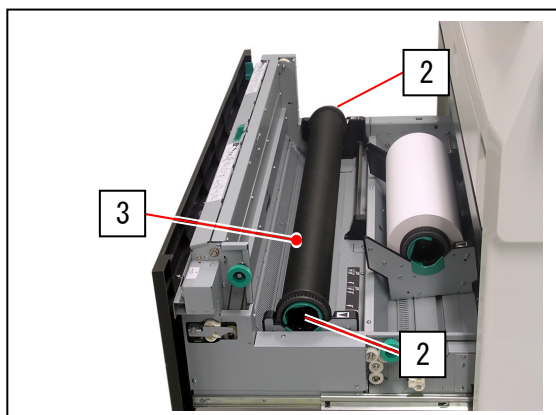
### ⚠ 注意

- (1) 給紙デッキにセットされているロール紙がなくなった時、紙詰まりが発生しやすくなります。  
(2) トレーシングペーパーは給紙デッキ1にセットすることをおすすめします。

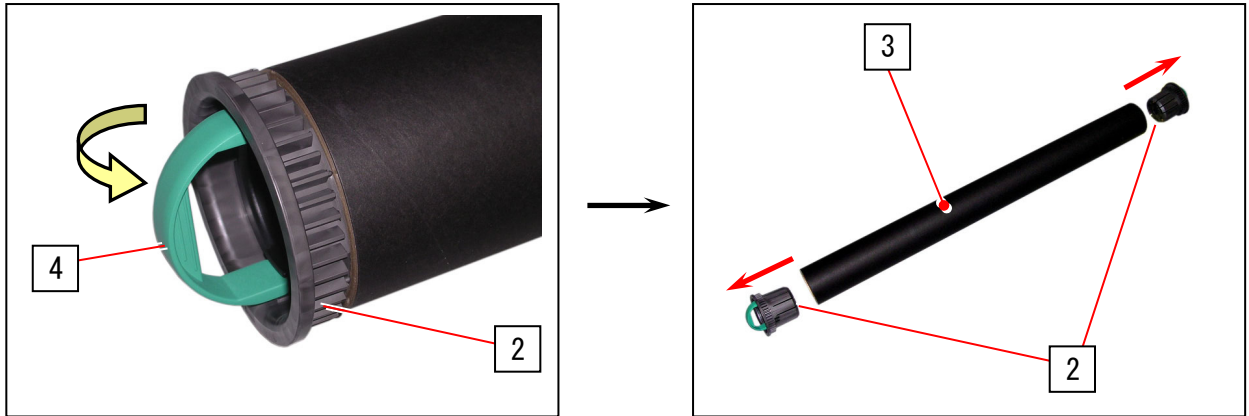
1. レバー(1)を引いて給紙デッキを開きます。



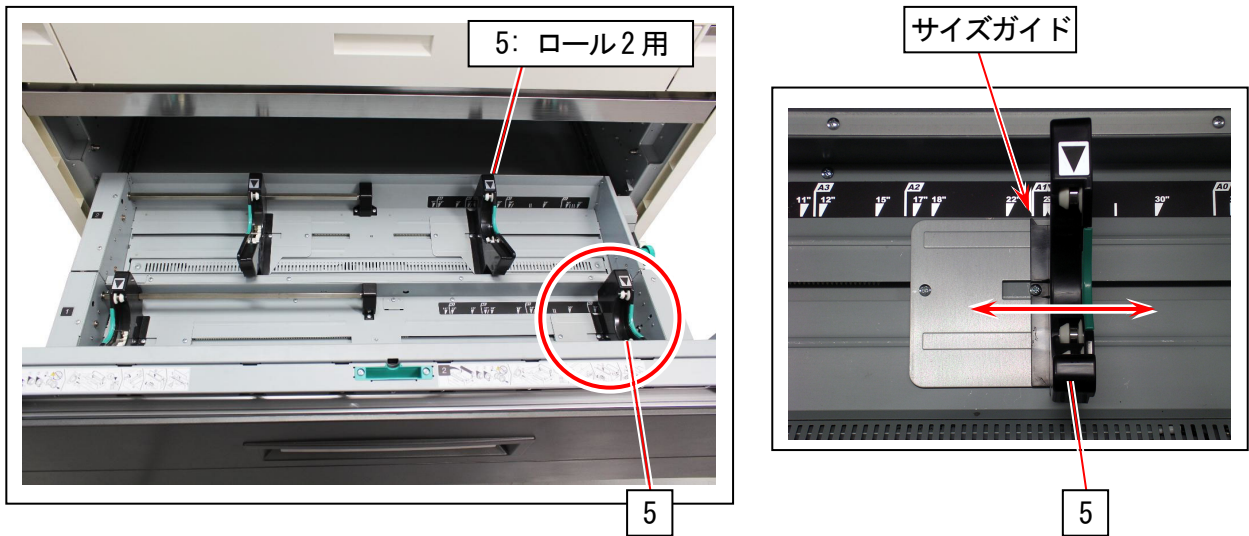
2. フランジ(2)をしっかりと持って、ロール紙またはロール紙の芯(3)を給紙デッキから取り出します。



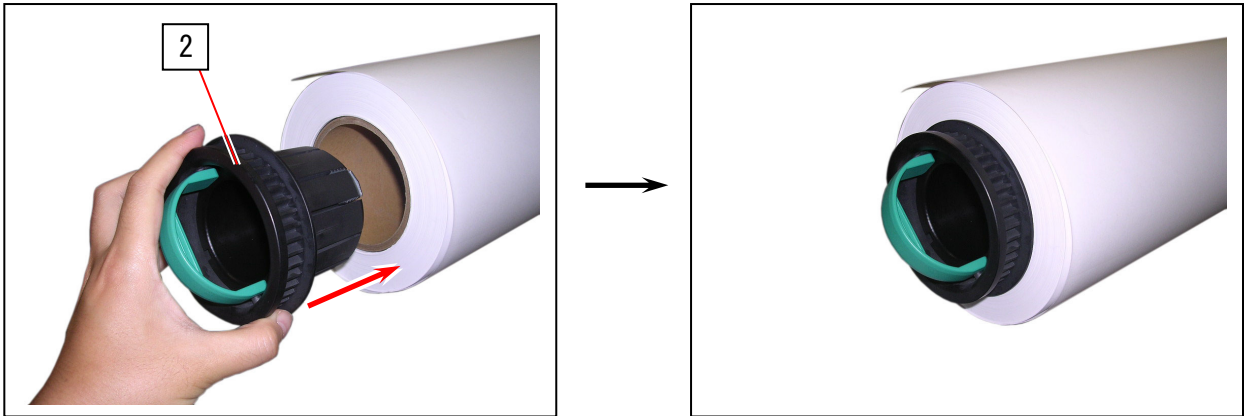
3. フランジ(2)のレバー(4)を起こして、ロール紙の芯(3)から取り外します。



4. 給紙デッキ内にある右側のスライドガイド(5)をロール紙の幅に合わせて調整します。  
左側のスライドガイドは連動して動きます。

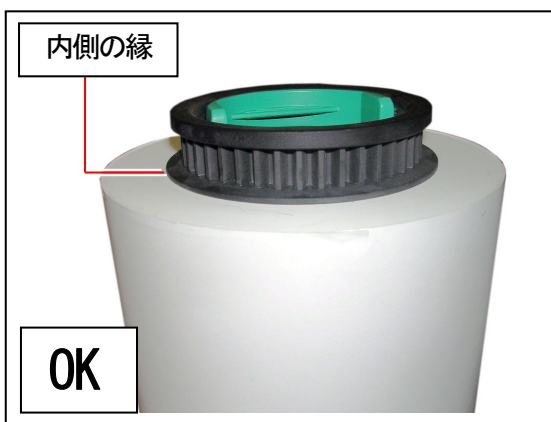


5. フランジ(2)を新しいロール紙の芯の両側に奥まで差し込みます。



**⚠ 注意**

(1) フランジの内側の縁がロール紙の側面に当たるまで確実に差し込んでください。



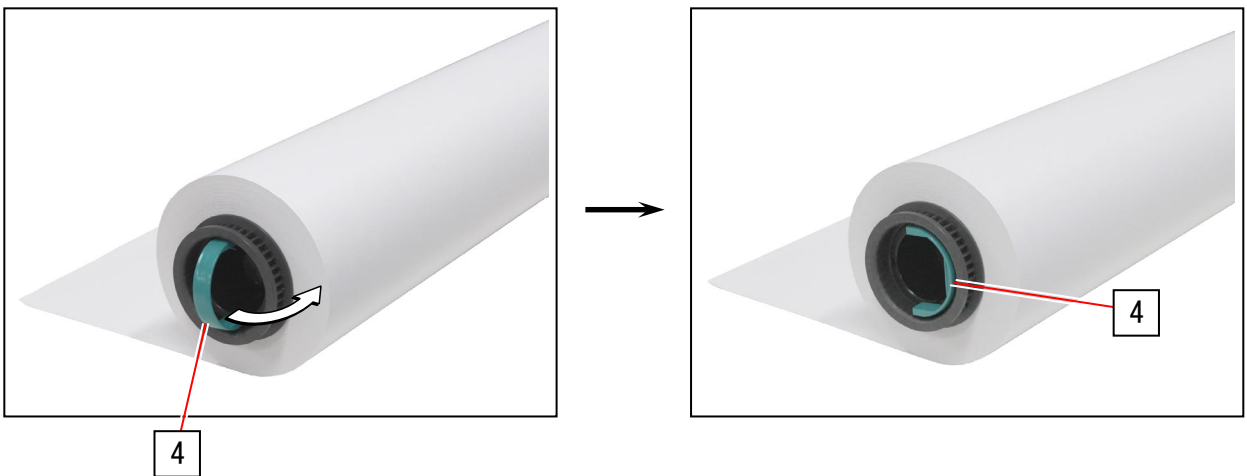
よい例：完全に差し込まれている



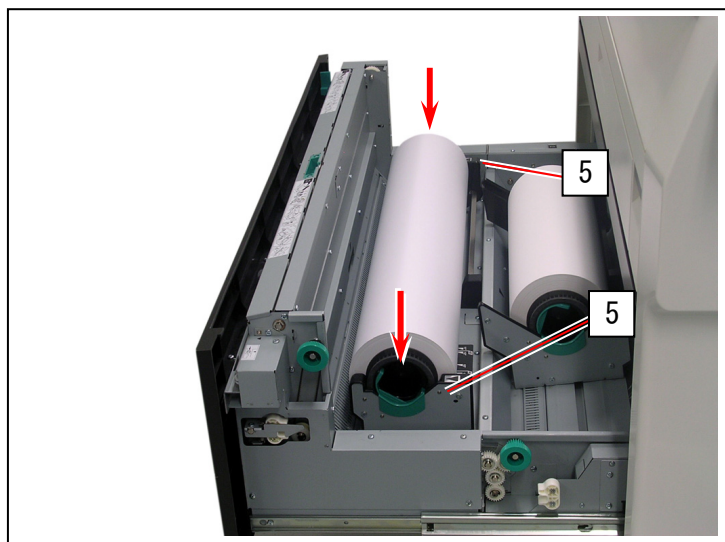
悪い例：完全に差し込まれておらず隙間がある

(2) ロール紙の芯を保持するための3箇所のストッパーは先端が鋭くなっています。この部分に触れないでください。

6. レバー(4)を一方に完全に倒して、ロール紙の芯に固定します。

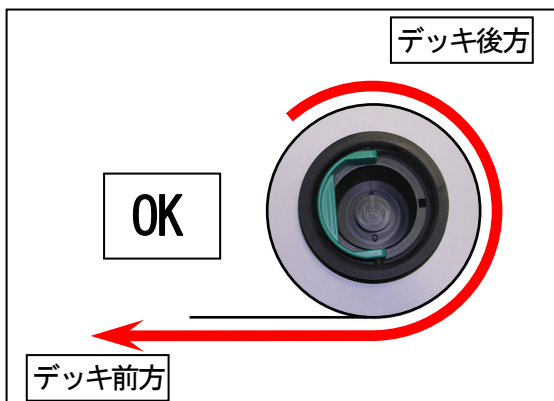


7. フランジをしっかりと持って、ロール紙をスライドガイド(5)に載せます。

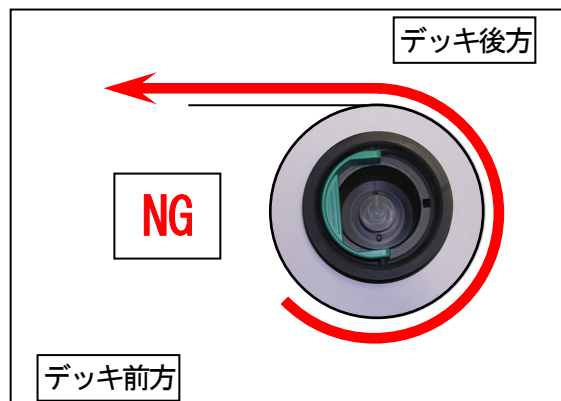


**!** 注意

(1) ロール紙の巻き方向に注意してください。

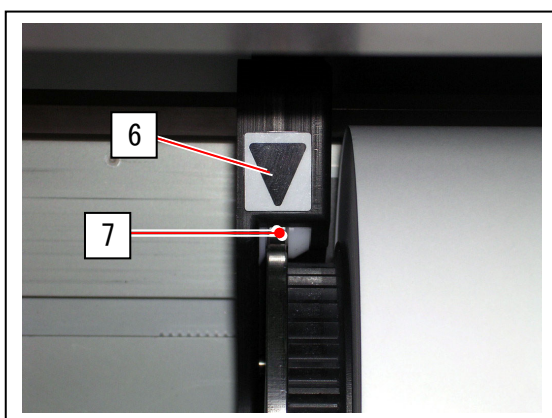


よい例：先端がロールの下から出る

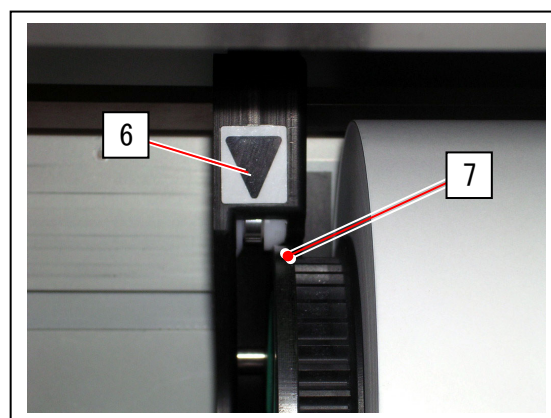


悪い例：先端がロールの上から出る

(2) フランジの外側の縁(6)がスライドガイドの三角印(7)と揃うようにロール紙をセットしてください。正しくセットされないとロール紙はデッキ内に脱落してしまいます。



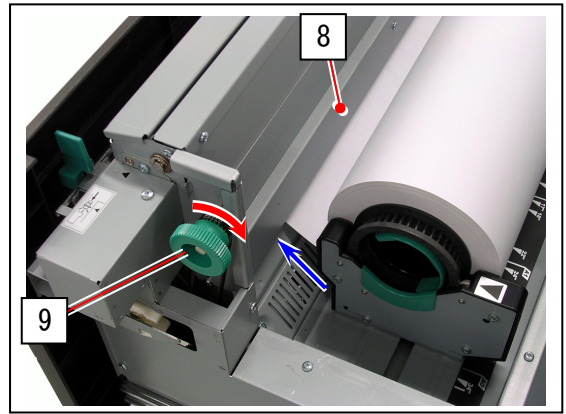
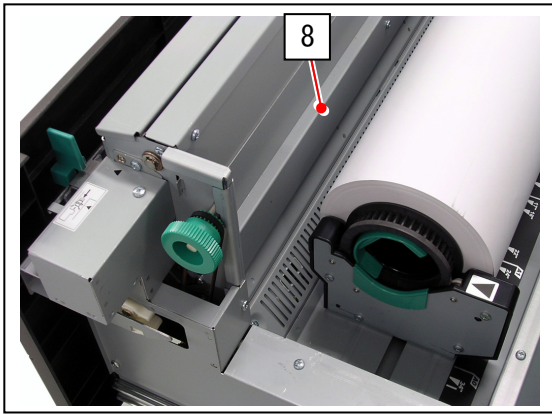
よい例



悪い例

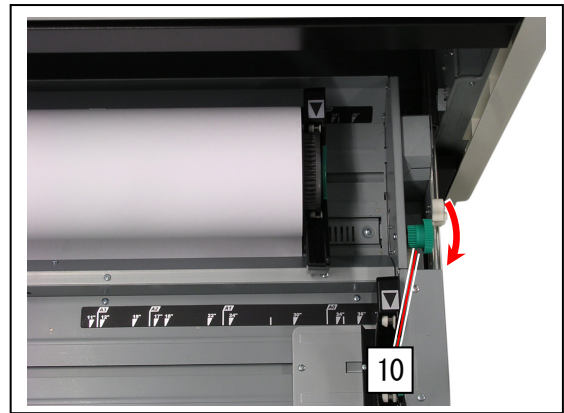


8. ロール紙の先端をガイド板(8)の下から搬送ローラにあたるまで差し込み、給紙ノブ(9)を時計回りに回してロール紙の先端を搬送ローラではさみます。

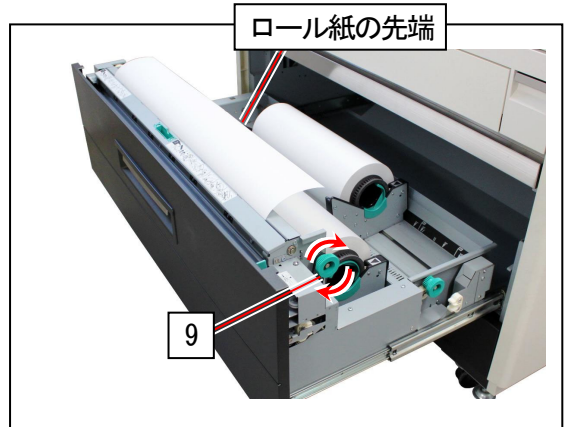
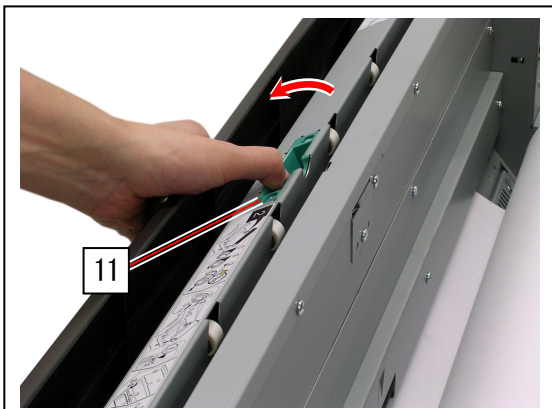


**!** 注意

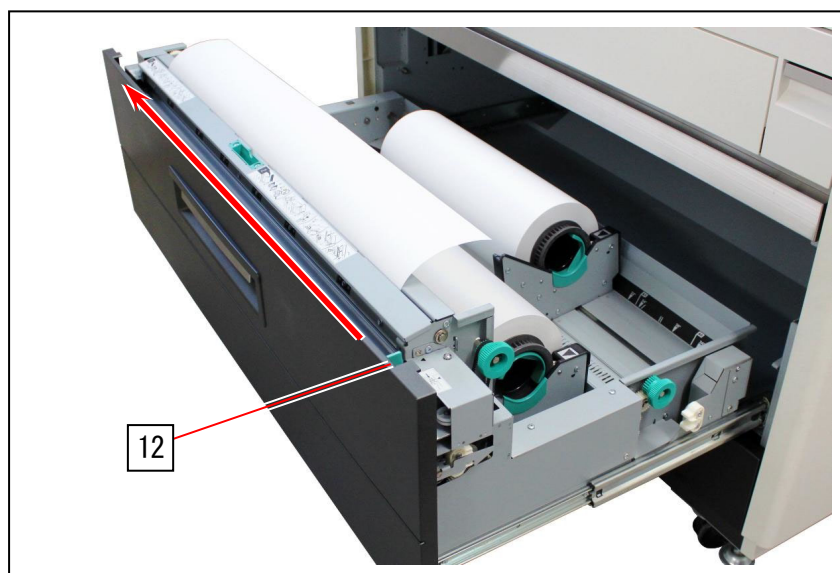
ロール2の場合は後ろ側の給紙ノブ(10)を回します。



9. ロール紙の先端を紙送りローラではさんだら、ガイド板6(11)の中央部のくぼみを押さえてデッキ外側に倒して開きます。  
給紙ノブ(9)をさらに回して、ロール紙の先端が10cm出るようにします。

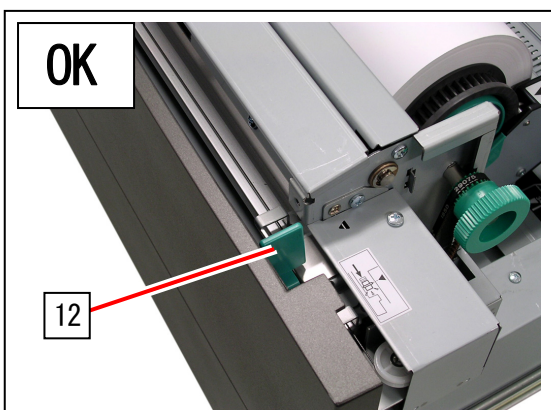


10. 緑色のカッターノブ(12)を端までスライドさせ、ロール紙の先端部分をカットします。  
切り取った部分は捨ててください。

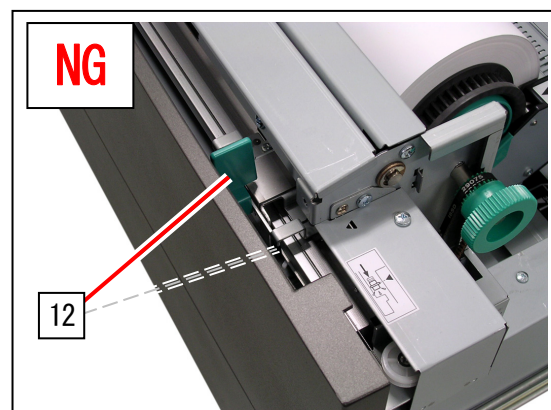


**!** 注意

カッターノブ(12)は完全に止まるまで端にスライドさせてください。  
途中で止めると紙詰まりの原因となります。



よい例：端に寄っている



悪い例：端に寄っていない、途中で止まっている

11. 給紙デッキを閉めます。

**!** 注意

給紙デッキは正しい位置で確実に閉めてください。  
紙詰まりの原因となります。



## 2. 4 トナーカートリッジを交換する

### ⚠ 警告

トナーカートリッジ内部には可燃性の粉末が入っています。  
使用済みのトナーカートリッジは絶対に焼却しないでください。

### 参考

機械内部のトナーがなくなると、UI 操作部にトナーカートリッジ交換を促す表示が出ます。  
次の手順に従って、新しい当社純正品のトナーカートリッジに交換してください。  
(操作手順はUI 操作部にも表示されます)

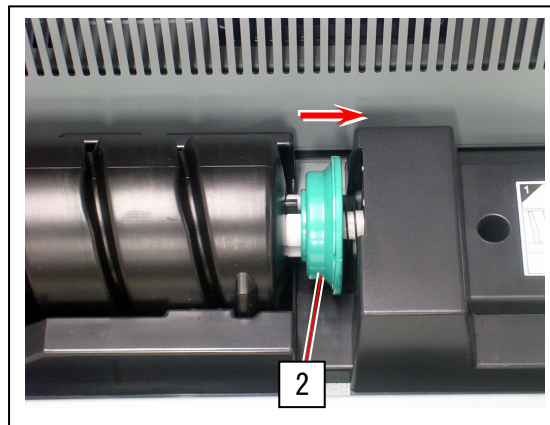
### ⚠ 注意

- (1) トナーカートリッジが正しくない場合、また取り付けられていない場合にもトナーなしが表示されます。
- (2) 機械設置時は、トナーカートリッジから現像器に初期トナーを供給します。このため、機械設置時に取り付けしたトナーカートリッジは通常使用時よりも若干早く消費されます。

1. トナーハッチ(1)を開きます。

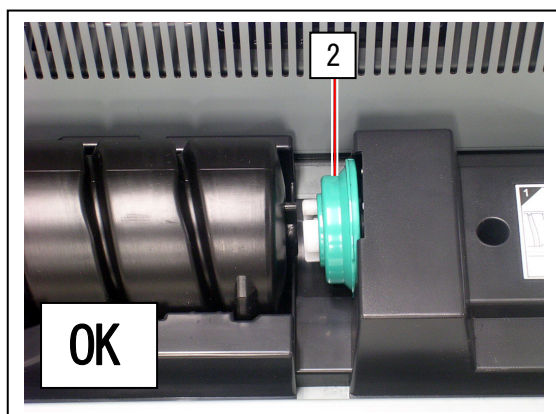


2. 緑色のレバー(2)を右側にスライドさせて、トナーカートリッジを解除します。  
(レバー(2)は自動的に固定されます)

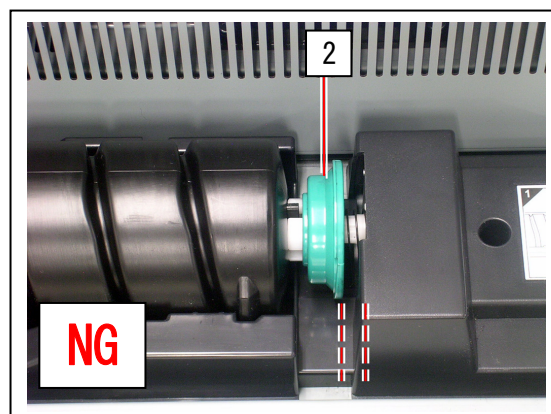


**!** 注意

緑色のレバー(2)は必ず解除してから次の手順に進んでください。

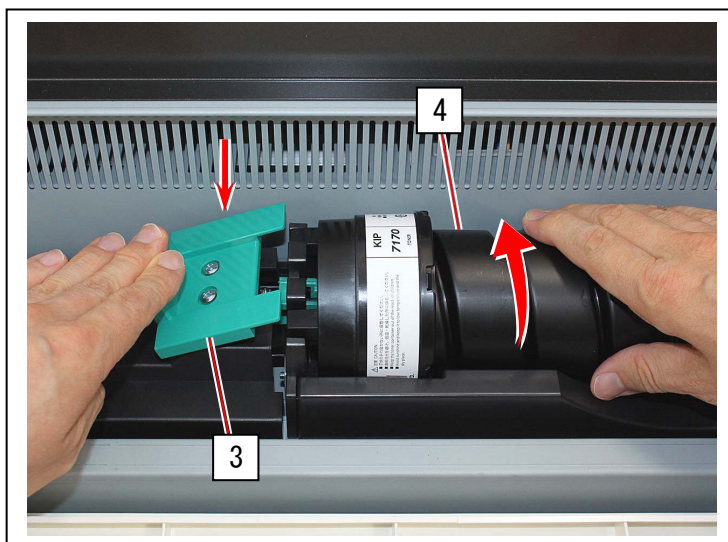


よい例：解除され右に寄っている



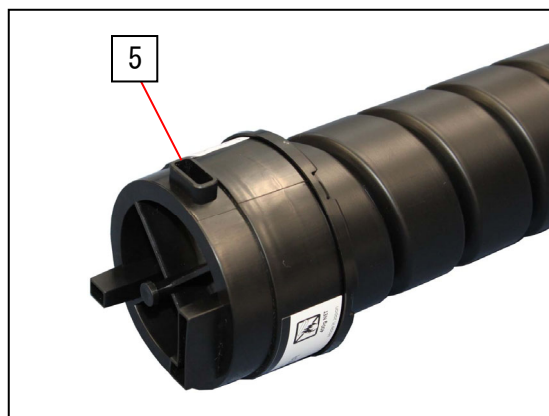
悪い例：解除されていない、左に寄っている

3. カートリッジロックレバー(3)を押し下げながら、カートリッジの本体(4)を矢印方向に止まるまで回転させます。(この作業によって、トナー供給口が完全に閉まります)

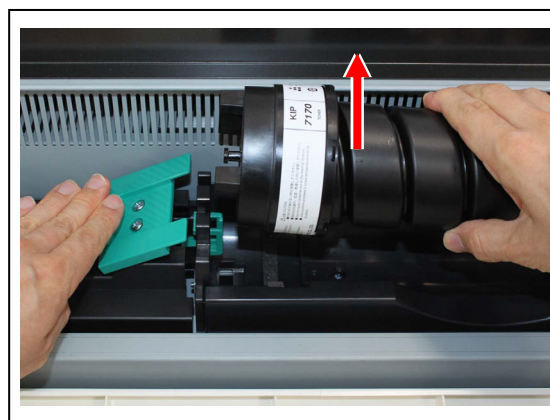
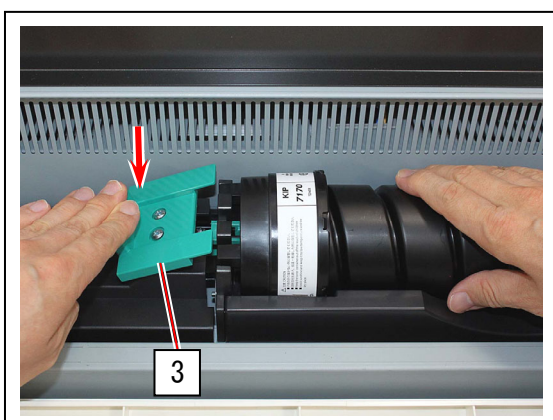


**⚠ 注意**

トナー供給口(5)が完全に閉まっていない場合は、カートリッジを取り外す際にトナーがこぼれ、プリンターの内部や床などが汚れることがあります。



4. カートリッジロックレバー(3)を押し下げ、最初にトナーカートリッジの左端を持ち上げてから、カートリッジ全体をプリンターから取り外します。



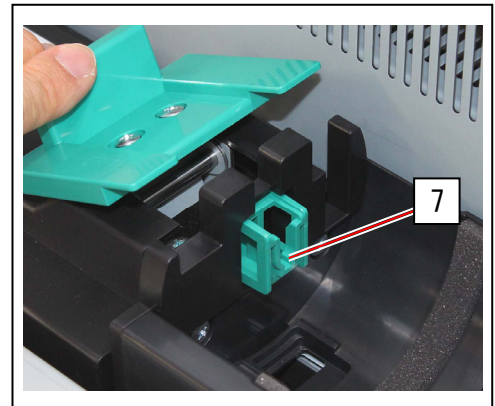
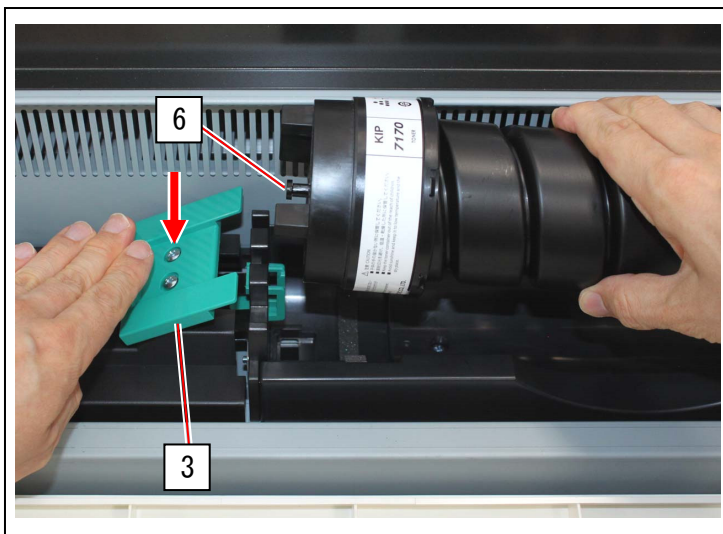
空のトナーカートリッジの回収について、巻末にお知らせがあります。あわせてお読みください。



5. 新しいトナーカートリッジを左右に5回以上振り、トナーをほぐします。  
振った後はトナーカートリッジをキャップ側に傾けて中のトナーをキャップ側に寄せます。

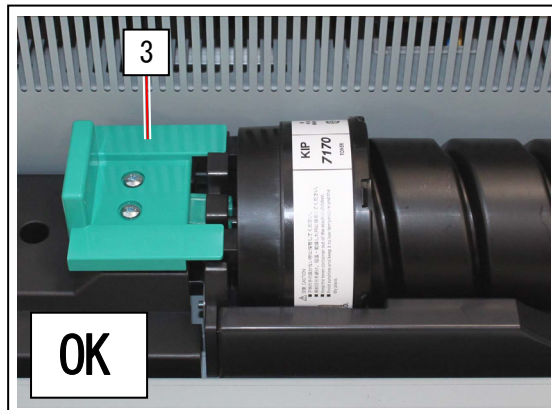


6. トナー供給口を下に向けながら、カートリッジロックレバー(3)を押し下げて、トナーカートリッジの左側のピン(6)をプリンターの溝(7)にはめ込みます。

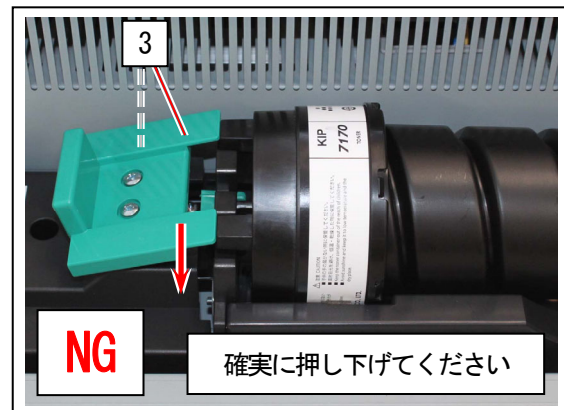


**⚠ 注意**

トナーカートリッジをセットすると、カートリッジロックレバー(3)が自動的に上がります。カートリッジロックレバー(3)が水平な位置でトナーカートリッジをロックしているか確認してください。

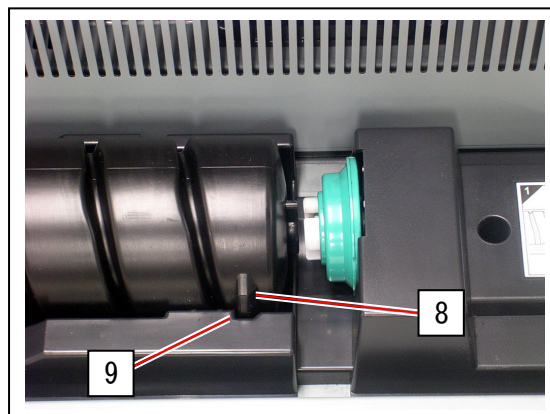
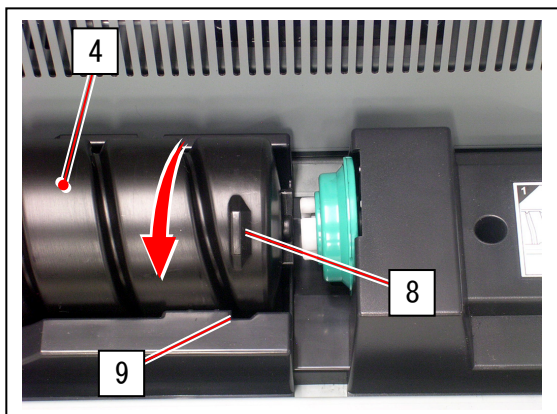


よい例：レバーが水平



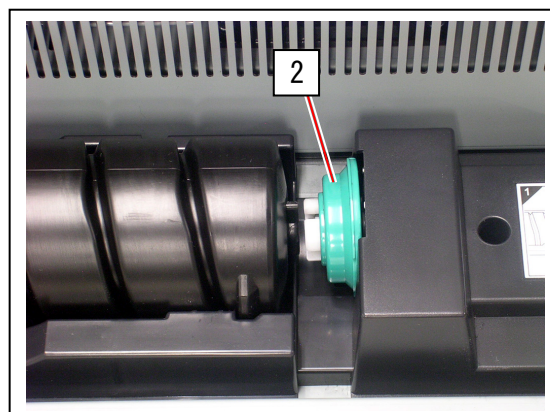
悪い例：レバーが斜め

7. トナーカートリッジ本体(4)を矢印方向に1周分回転させて、トナー供給口を開きます。  
トナーカートリッジ本体右側の突起部(8)が溝(9)に収まっていることを確認してください。

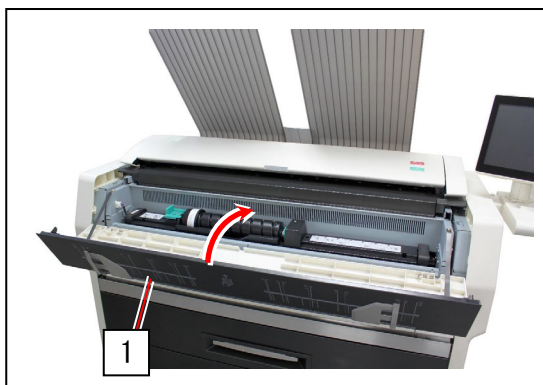


**!** 注意

レバー(2)でトナーカートリッジをロックする必要はありません。  
トナーハッチを閉めると、レバーが自動的に回転してトナーカートリッジをロックします。



8. トナーハッチ(1)を閉めます。

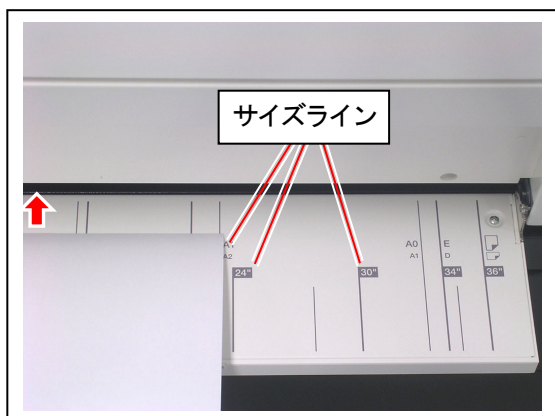


## 2. 5 手差し用紙をセットする

1. 手差し給紙部を開きます。



2. 手差し給紙部にはサイズラインがあります。  
用紙を手差し給紙部のサイズラインに合わせ、ラインに沿って用紙を差し込みます。  
用紙が搬送ローラにあたると、プリンターが自動的に用紙を搬送し、定位置にセットされます。



### ⚠ 注意

- (1) 用紙がカールしている場合、手差し給紙部にセットする前に真っ直ぐに修正してください。  
それでもまだカールしている場合は、カールしている方を下に向けて手差し給紙部にセットしてください。カールしている方を上に向けてセットすると、紙詰まりの原因となります。



よい例：カールが下向き



悪い例：カールが上向き

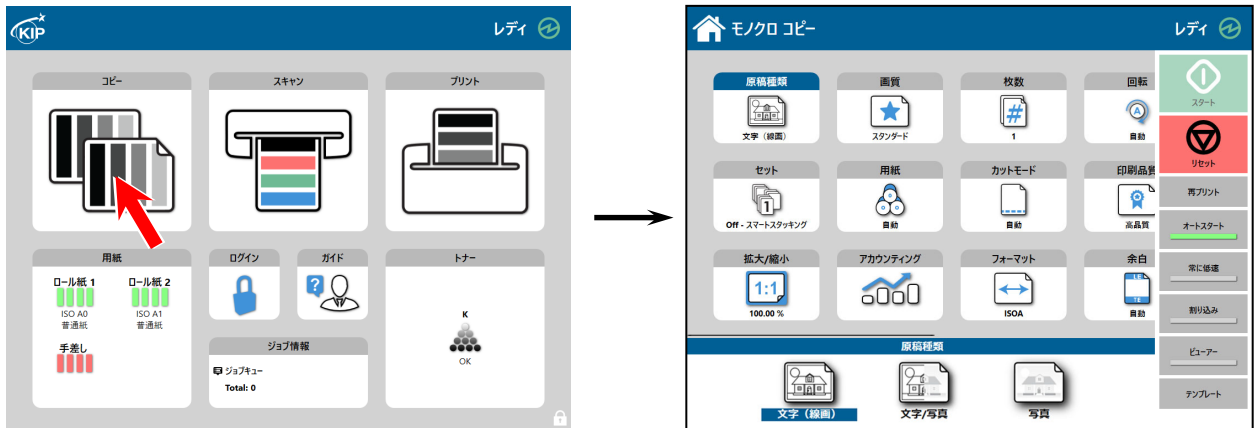
- (2) プリンターがプリント動作中に手差し給紙を行わないでください。紙詰まりになる場合があります。



## 2. 6 コピーする

“コピー”に関する詳細な手順は、UI 操作部ホーム画面上の「ガイド」に収録されていますので、そちらも合わせてご参照ください。

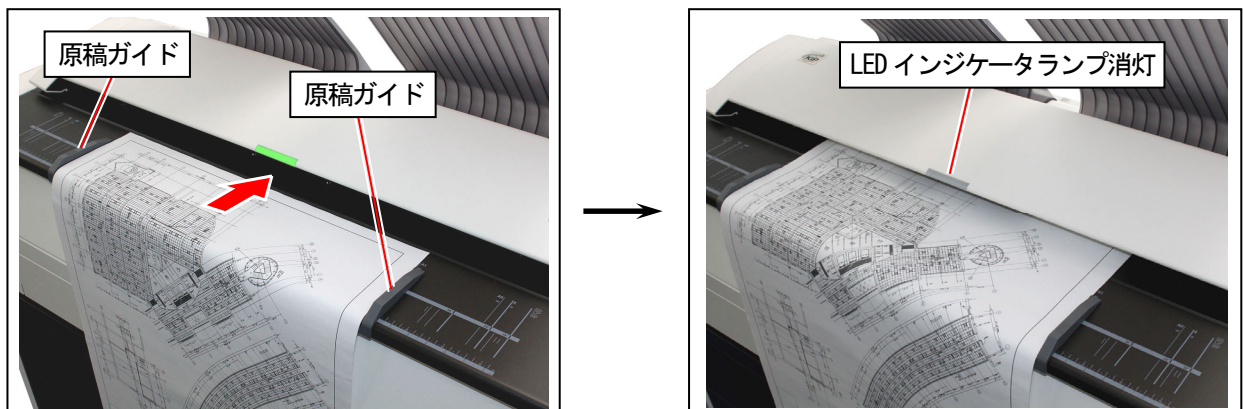
1. UI 操作部（ホーム画面）で、[コピー]を押します。



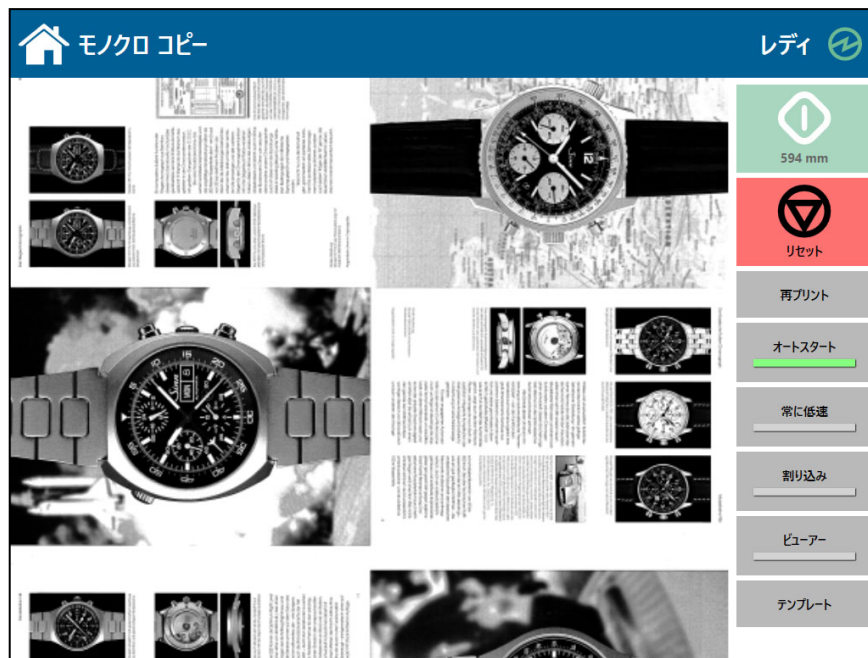
2. 原稿の大きさに合わせて、原稿ガイドの位置を調整します。



3. 原稿の表面を上にして原稿テーブルに置き、原稿ガイドに沿ってスキヤナ部の下に差し込みます。原稿の先端が原稿搬送ローラにあると、スキヤナが自動的に原稿を搬送して定位置にセットされ、LEDインジケータランプが消灯します。

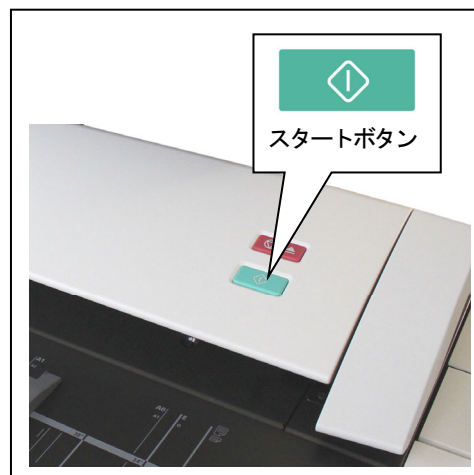


4. 読み取りとプリントが自動的に開始されます。



### 参考

通常は自動的にコピーやスキャンの動作が開始されますが、読み取りにスタートボタンを押す必要がある場合もあります。スキャンの設定内容についてはご使用のソフトウェアマニュアルを参照してください。



### 注意

スリープモード中は、原稿は自動的に定位置にセットされません。この場合はUI 操作部に触れて表示を復帰させた後、コピー/スキャンモード中にスキャナ部に原稿を挿入します。



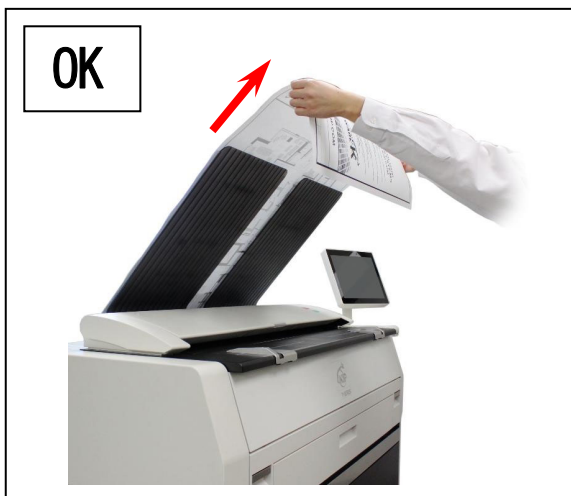
KIP 7170G にはプリントの排紙方向を前方（機械の上）と後方のスタッカーや折り機（オプション）とを切り替える機能があります。



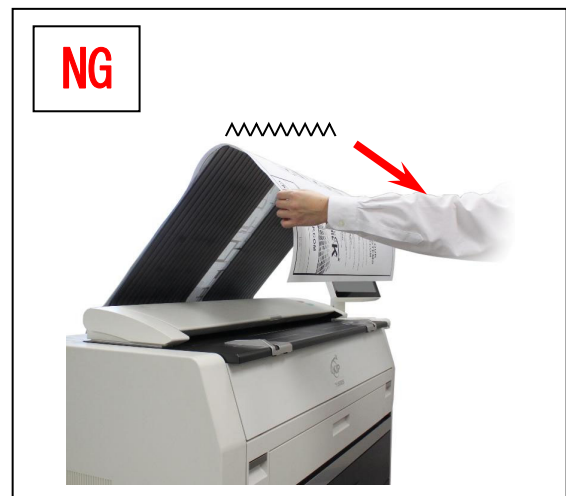
(前方排紙の例)

**⚠ 注意**

前方排紙されたプリントは上方へゆっくりと持ち上げて、プリント面をこすらないように取り出してください。またスタック枚数が多い場合はプリントが重いため、一度に取り出さずに複数回に分けて取り出してください。



**よい例**：ゆっくり持ち上げて取り出す



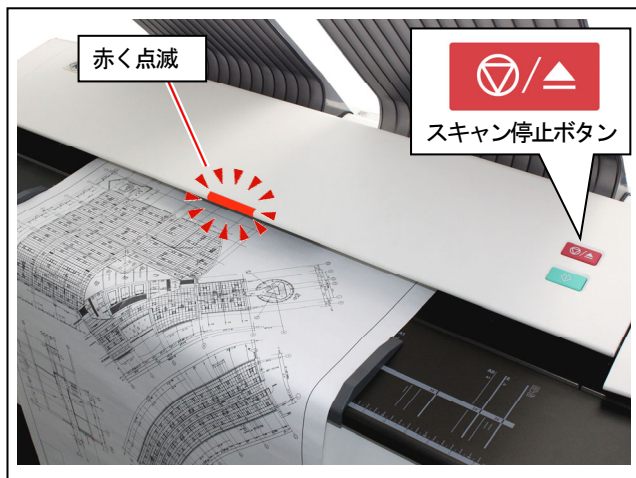
**悪い例**：下向きに引いて取り出す

前方排紙されたプリントが規定枚数を超えると、UI 操作部に「上部排紙トレイフル」が表示され、次のプリントは一時停止します。プリントを取り出してください。

排紙方向の切り替え方法については「タッチパネル操作ガイド」を参照してください。

## 2. 7 スキャンまたはコピーを停止する

原稿の読み取り中にスキャナ部のスキャン停止ボタンを押すと、原稿の読み取りを停止することができます。この時、スキャナのLEDインジケータランプが赤く点滅します。



原稿が停止したら、上部ユニットの左右を持ち上げて開き、原稿を取り除きます。プリントは停止し、カットされた後、排出されます。

### ⚠ 注意

原稿を引っ張ったり押さえたりして、原稿の搬送を止めないでください。  
必ずスキャン停止ボタンで停止させてください。

## 2. 8 スリープモードを解除する

KIP 7170Gには消費電力を低減させるスリープモードがあります。

あらかじめ設定した時間内に、何も操作されずプリントも行われない場合、機械はスリープモードに入ります。

標準では、

- ・操作やプリントが行われない状態が15分続くと、定着器(プリント排出部付近の高温部分)の温度を通常よりも低く維持して消費電力を低減するウォームスリープモードに入ります。
- ・ウォームスリープモードに移行してからさらに操作やプリントが行われない状態が45分(計60分)続くと、定着器などへの電力供給を停止して消費電力を大幅に低減するコールドスリープモードに入ります。

スリープモードを解除するには以下の方法があります。

- ・ネットワークコンピュータよりプリント指示を送る
- ・UI 操作部に触れてから原稿を挿入する

### 注意

- (1) レディ状態に復帰するまでに少し時間がかかる場合があります。
- (2) UI 操作部に触れるとスクリーンセイバーのみ解除されます。別途コピー、プリントを行うための、定着器のウォームアップに時間がかかる場合があります。
- (3) コールドスリープの初期タイマー (推奨) : 60分

---

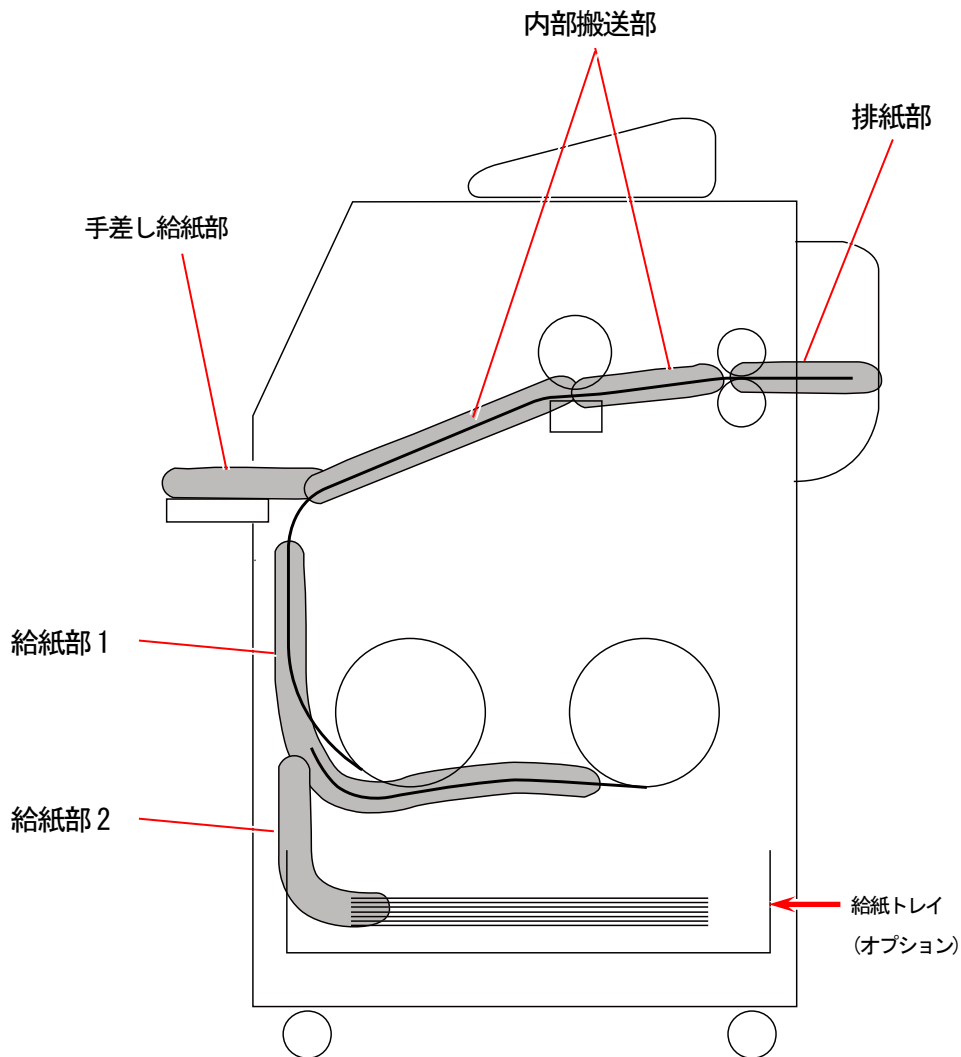
## 第三章 エラー表示と処置方法

---

	ページ
3. 1 紙詰まり .....	3- 2
3.1.1 給紙部ジャム (給紙デッキ1、2 給紙不良) .....	3- 3
3.1.2 手差し給紙部ジャム (転写部搬送エラー) .....	3- 6
3.1.3 内部搬送部ジャム (転写部搬送エラー、剥離部(1)紙づまり) .....	3- 8
3.1.4 排紙部ジャム (排紙部(後部)紙づまり) .....	3-10
3.1.5 スタックジャム (前方排紙) .....	3-14
3.1.6 原稿ジャム .....	3-16
3.1.7 接続機器ジャム .....	3-17
3. 2 ドアオープン .....	3-18
3.2.1 給紙デッキ (給紙デッキ1オープン、給紙デッキ2オープン) .....	3-18
3.2.2 エンジン部 .....	3-18
3.2.3 排紙カバー (排紙部ドアオープン) .....	3-19
3.2.4 スキャナーユニット (スキャナーカバーオープン) .....	3-19
3. 3 その他のエラー .....	3-20
3.3.1 ロール紙交換 .....	3-20
3.3.2 トナー補給 .....	3-20
3.3.3 接続機器エラー .....	3-20
3. 4 サービスコールエラー .....	3-21

### 3. 1 紙詰まり

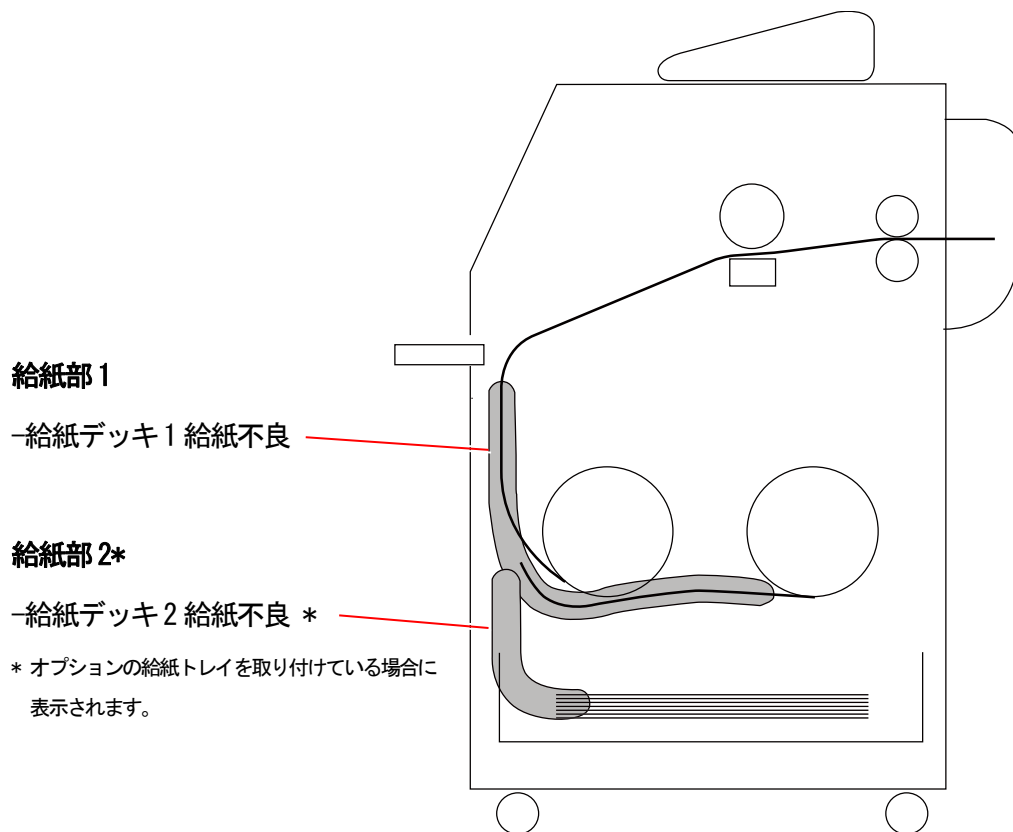
紙詰まりが発生すると、UI 操作部には紙詰まり箇所が表示されます。  
表示される紙詰まり箇所は以下の通りです。



#### ⚠ 注意

- (1) 紙詰まりを取り除く際は、用紙の端で手を切ったりしないように注意してください。
- (2) 紙詰まりで用紙を機械内部から取り除く際は、紙詰まりしている用紙の上のトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。トナーが衣服や手に付着した場合は、軽くはたいて落としてください。  
それでも落ちない場合は、洗濯可能なものについては、水で洗って落としてください。  
(お湯で洗うとトナーが定着し、汚れが落ちなくなることがあります。)
- (3) 紙詰まりで用紙を機械内部から取り除く際は、紙詰まりしている用紙の上のトナーが飛び散らないように丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。  
(トナーが目や口に入った場合は直ちに水で洗い流し、医師にご相談ください。)

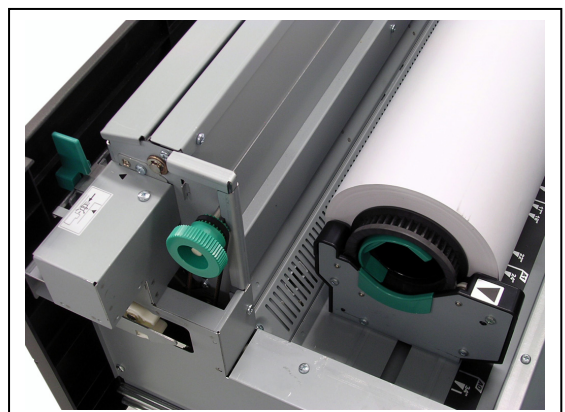
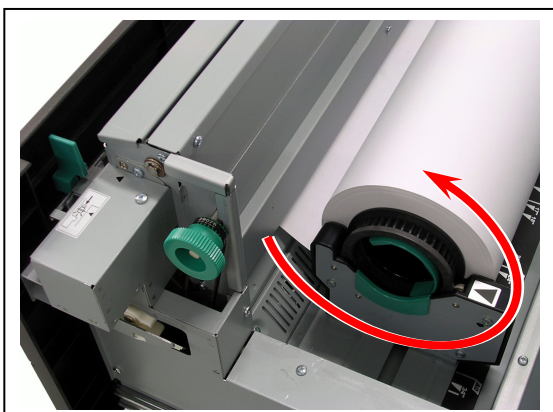
### 3. 1. 1 給紙部ジャム (給紙デッキ1、2 給紙不良)



1. レバー(1)を引いて給紙デッキを開きます。

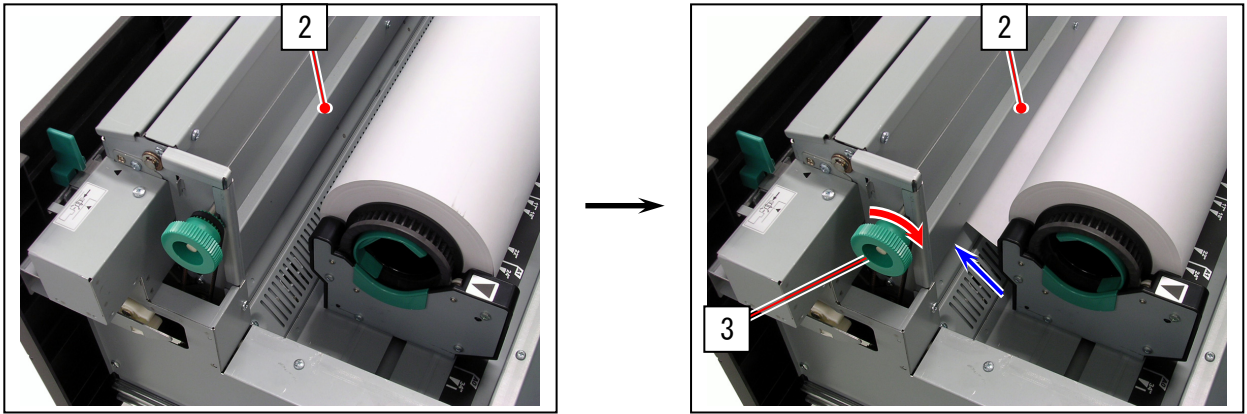


2. ロール紙を矢印の方向に巻き取ります。



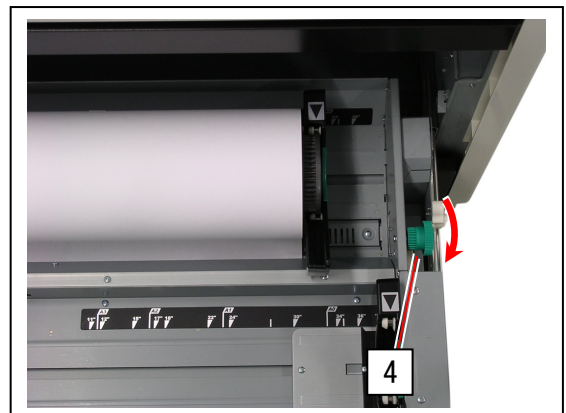


3. ロール紙の先端をガイド板(2)の下から搬送ローラにあたるまで差し込み、給紙ノブ(3)を時計回りに回してロール紙の先端を搬送ローラではさみます。

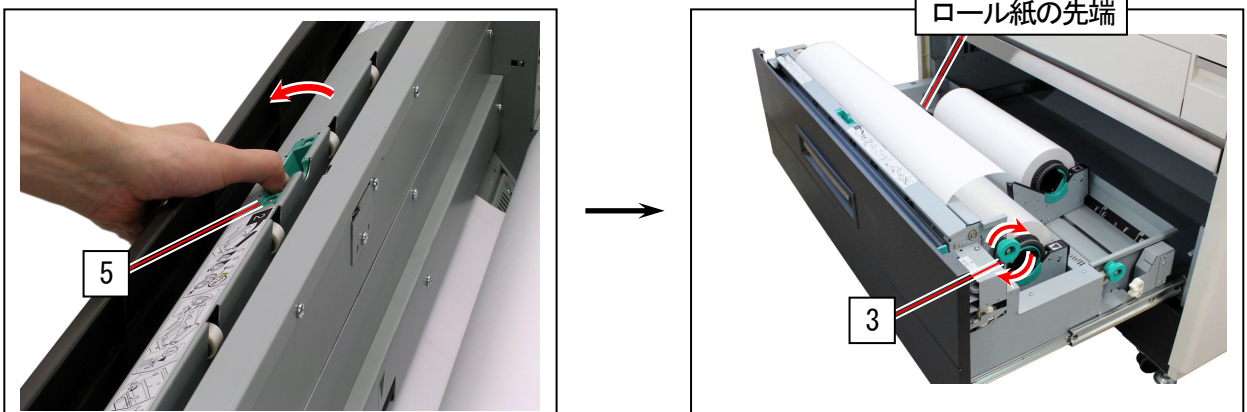


**⚠ 注意**

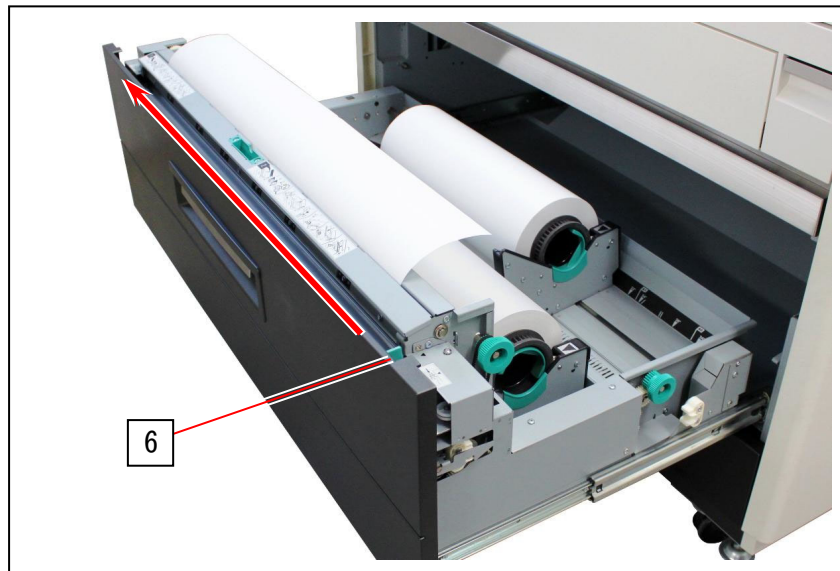
- (1) ロール紙の先端が著しく折れ曲がっている場合、先端部をカッター等で切断して、先端を整えてからガイド板の下に差し込んでください。
- (2) ロール2の場合は、後ろ側の給紙ノブ(4)を回します。



4. ロール紙の先端を紙送りローラではさんだら、ガイド板の中央部のくぼみ(5)を押さえてデッキ外側に倒して開きます。  
給紙ノブ(3)をさらに回して、ロール紙の先端が10cm出るようにします。

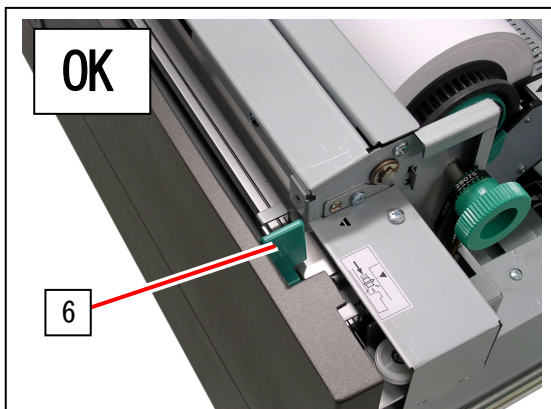


5. 緑色のカッターノブ(6)を端から端までスライドさせ、ロール紙の先端部分をカットします。切り取った部分は捨ててください。

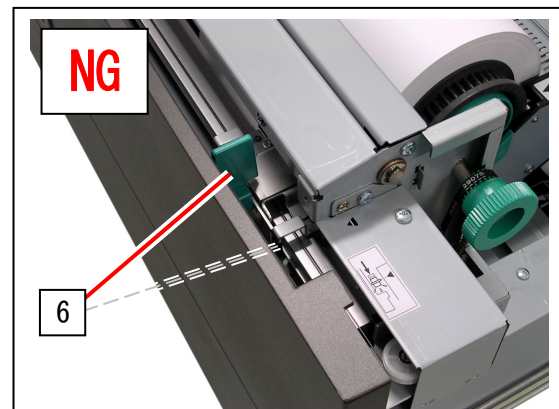


**!** 注意

カッターノブ(6)は完全に止まるまで端にスライドさせてください。途中で止めると紙詰まりの原因となります。



よい例：端に寄っている



悪い例：端に寄っていない、途中で止まっている

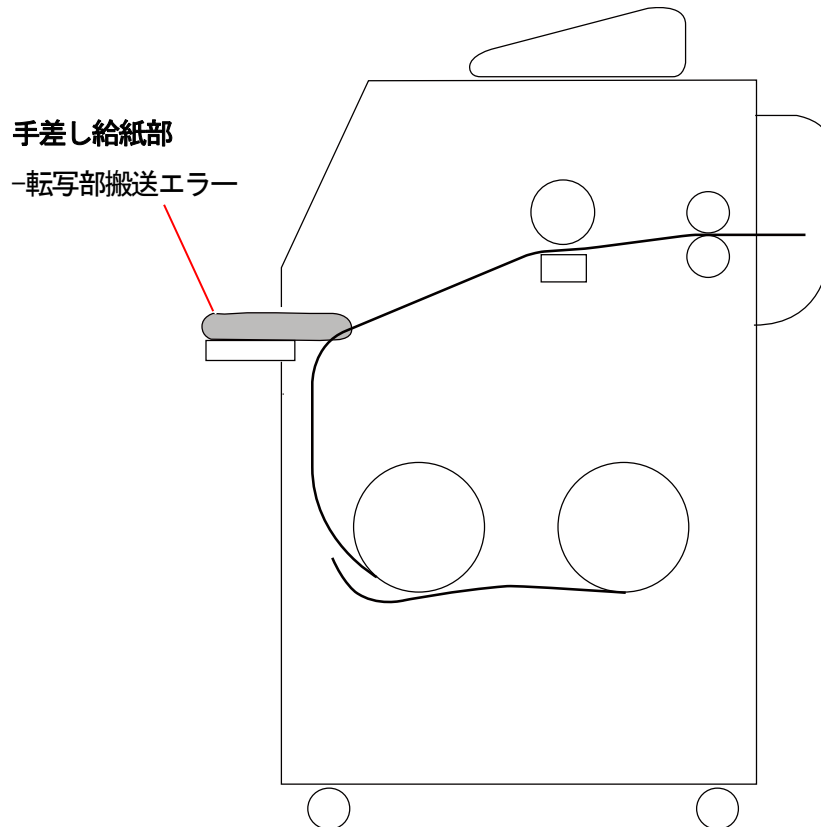
6. 給紙デッキを閉めます。

**!** 注意

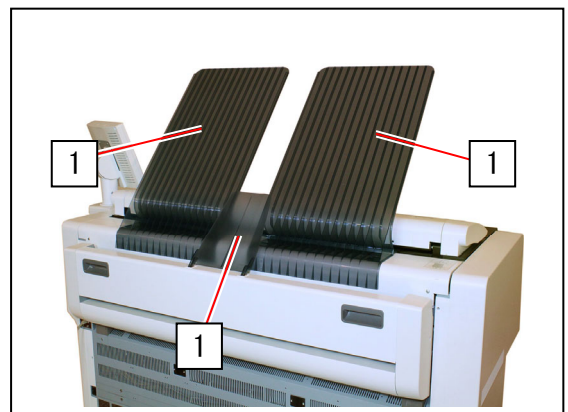
給紙デッキは正しい位置で確実に閉めてください。紙詰まりの原因となります。



### 3. 1. 2 手差し給紙部ジャム (転写部搬送エラー)



1. 排紙トレイ(1)をすべて取り外します。



2. エンジン部解除レバー(2)を持ち上げて、エンジン部を開きます。



3. 紙詰まりを起こした用紙を手前に引き出します。



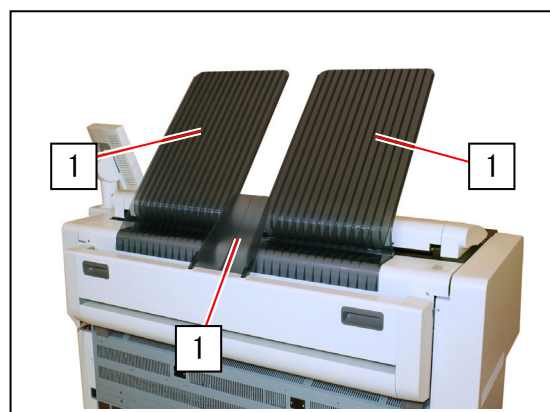
4. 手差し給紙部とエンジン部を閉めます。



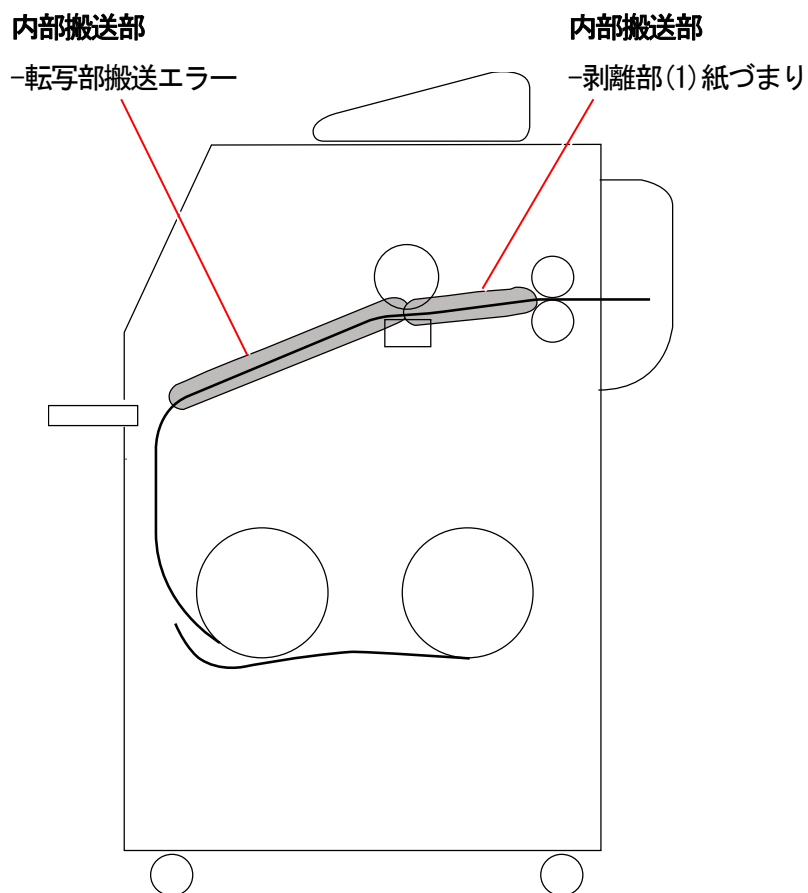
**!** 注意

- (1) エンジン部は正しい位置で確実に閉めてください。
- (2) 取り除いた用紙は交換するか、向きを変えるなどして、折れ曲がっていない先端を差し込んでください。著しく折れ曲がっている場合には紙詰まりの原因となります。

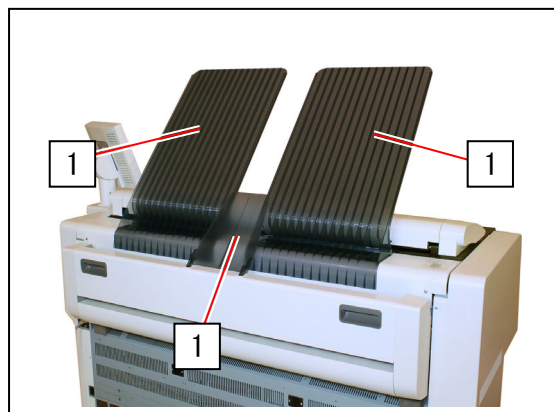
5. 排紙トレイ(1)を元に戻します。



### 3. 1. 3 内部搬送部ジャム（転写部搬送エラー、剥離部(1)紙づまり）



1. 排紙トレイ(1)をすべて取り外します。



2. エンジン部解除レバー(2)を持ち上げて、エンジン部を開きます。



3. 紙詰まりを起こした用紙を手前に引き出します。



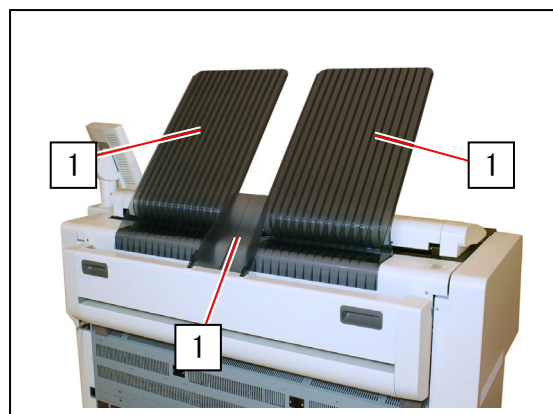
4. エンジン部を閉めます。



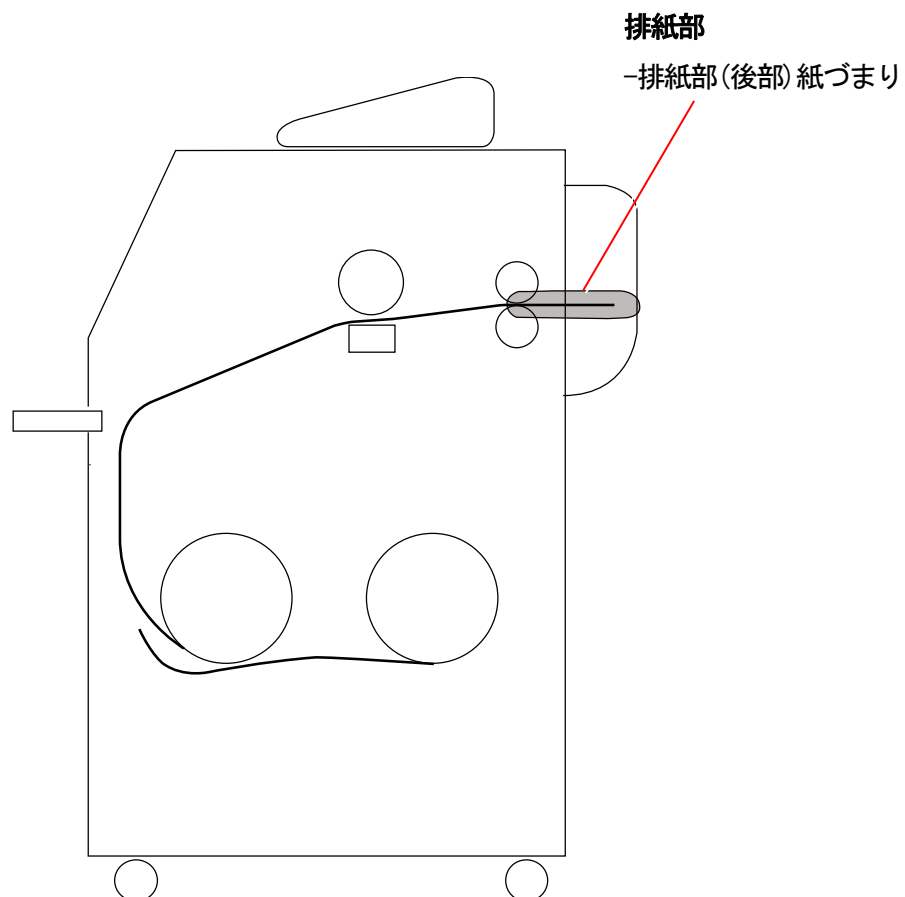
**⚠ 注意**

エンジン部は正しい位置で確実に閉めてください。

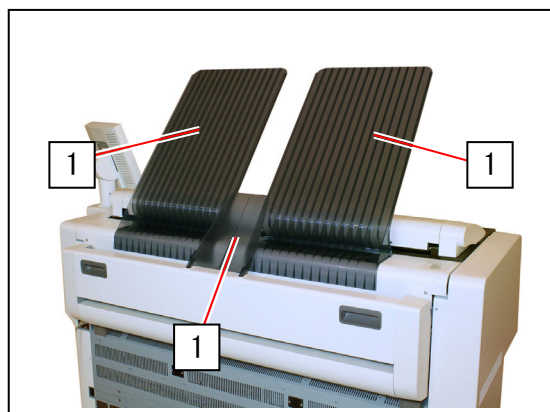
5. 排紙トレイ (1) を元に戻します。



### 3. 1. 4 排紙部ジャム (排紙部(後部)紙づまり)



1. 排紙トレイ(1)をすべて取り外します。



2. エンジン部解除レバー(2)を持ち上げて、エンジン部を開きます。



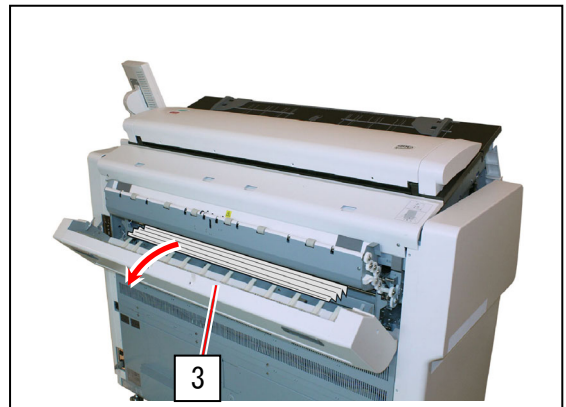
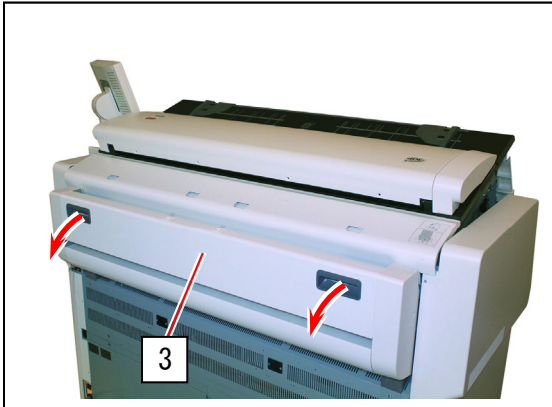
3. 詰まった用紙が見える場合、用紙を取り出します。

詰まった用紙が見えない、または取り出せない場合は手順4に進みます。

用紙の切れ端なども残さず完全に除去できた場合は手順8に進みます。



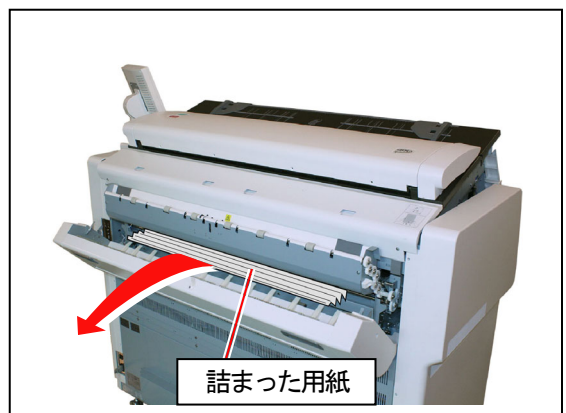
4. ハンドルを持って排紙カバー(3)を開きます。



5. 詰まった用紙を後方に引き出します。

用紙の切れ端なども残さず完全に除去できた場合は次のページに進みます。

用紙を除去できない場合は、次の手順に進みます。

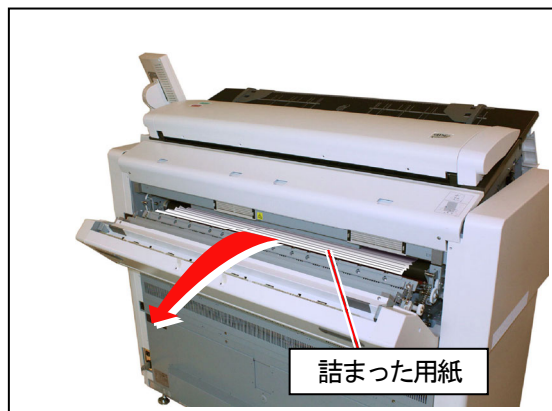
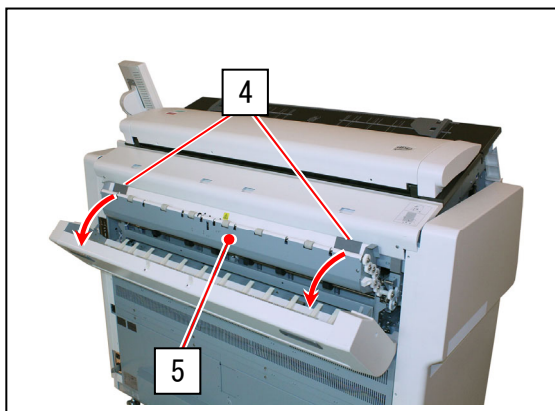


**⚠ 注意**

用紙を後方から引き出して取り除いた場合、次のプリントに汚れが発生する場合があります。



6. 両側のノブ(4)を持って、排紙カバー(5)を開きます。  
詰まった用紙を後方に引き出します。



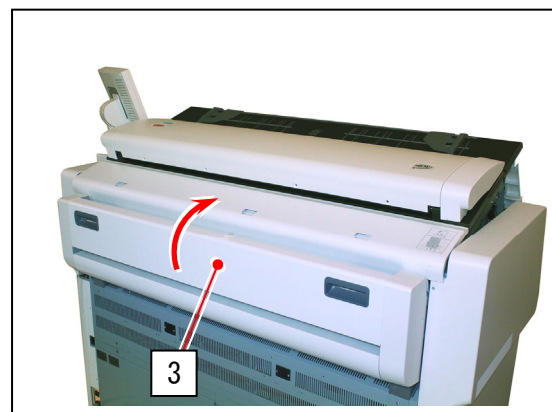
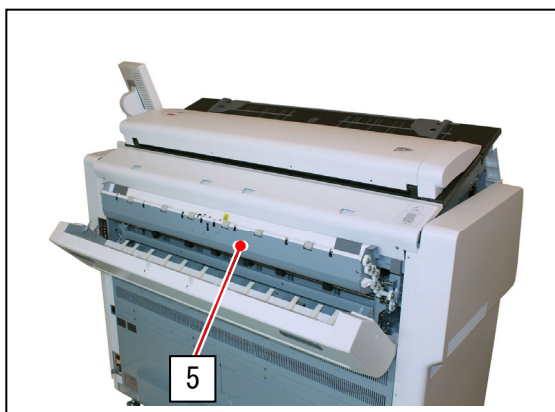
**⚠ 警告**

排紙カバー内部には非常に高温な部分があります。  
火傷を負う危険がありますので、内部には手を触れないでください。  
紙詰まりを起こした紙も高温です。取り出すときは火傷をしないようご注意ください。

**⚠ 注意**

用紙を後方から引き出して取り除いた場合、次のプリントに汚れが発生する場合があります。

7. 排紙カバー内側(5)と排紙カバー(3)を閉めます。



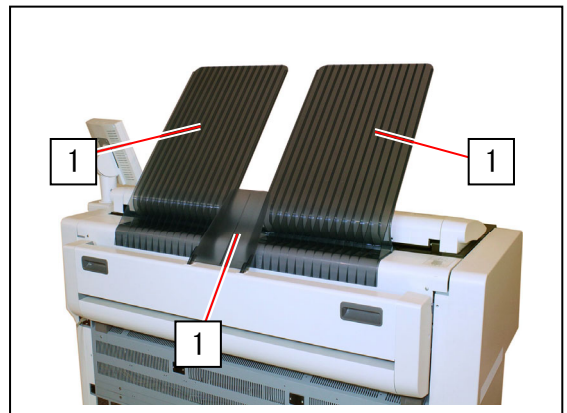
8. エンジン部を閉めます。



**⚠ 注意**

エンジン部は正しい位置で確実に閉めてください。

9. 排紙トレイ(1)を元に戻します。



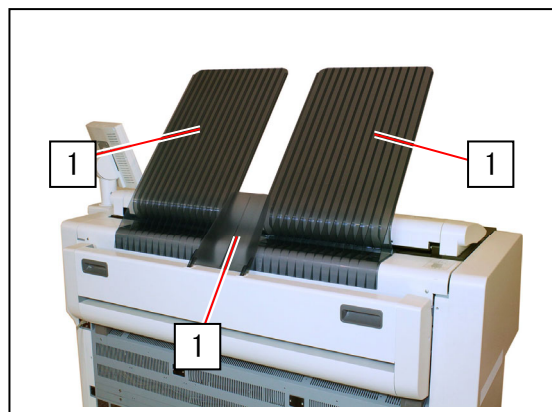


### 3. 1. 5 スタックジャム（前方排紙）

1. 前方排紙されたプリントを取り出します。



2. 排紙トレイ(1)をすべて取り外します。



3. エンジン部解除レバー(2)を持ち上げて、エンジン部を開きます。



4. 詰まった用紙を引き出して取り除きます。

用紙を除去できない場合は、「3.1.4 排紙部ジャム」を参照してください。

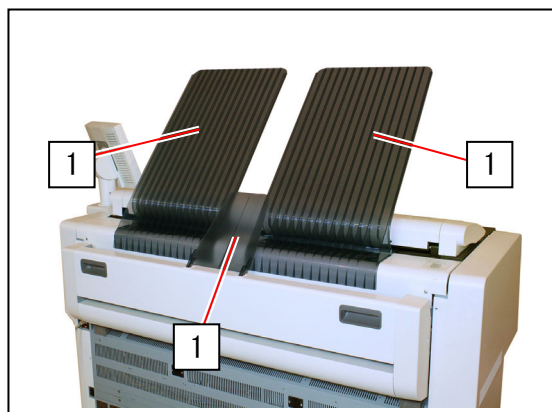


5. エンジン部を閉めます。



エンジン部は正しい位置で確実に閉めてください。

6. 排紙トレイ(1)を元に戻します。

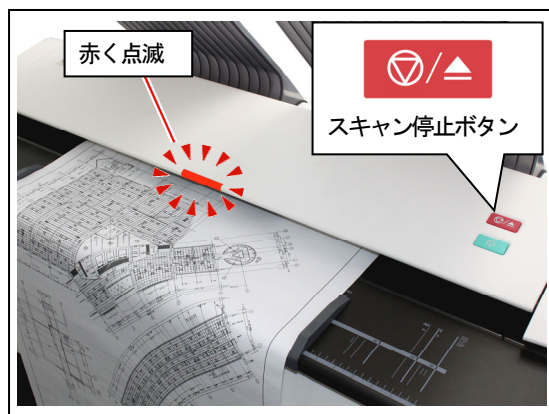


### 3. 1. 6 原稿ジャム

原稿が正しく搬送されないと、原稿がスキャナー内部で停止することがあります。

またスキャン動作中にスキャン停止ボタンを押して停止させた場合も原稿はスキャナー内部で停止します。

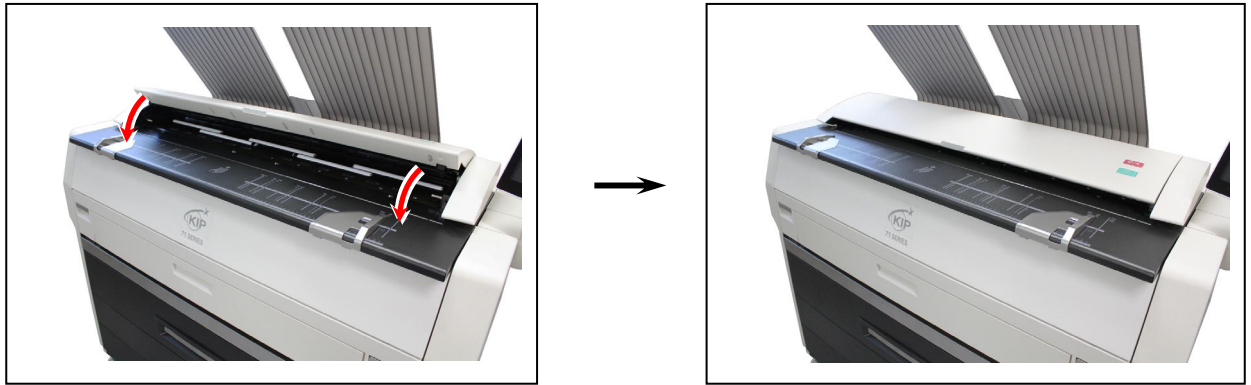
どちらの場合も、スキャナーのLEDインジケータランプが赤く点滅します。



1. スキャナーの両側(1)を持ち、押し上げてスキャナー一部を開き、原稿を取り出します。



2. スキャナー部の両側を押し下げて、スキャナー部を閉めます。



**⚠ 注意**

スキャナー部の両側を静かに押し閉めてください。  
片側のみを強く押し閉めないでください。故障の原因となります。

### 3. 1. 7 接続機器ジャム

オートスタッカーや折り機などの接続機器に紙詰まりが発生した場合は、各機器の取扱説明書を参照して、詰まった用紙を取り除いてください。

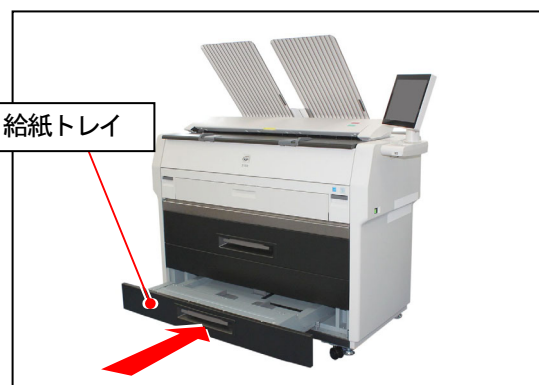
## 3. 2 ドアオープン

各部のドアが開いていると、UI 操作部には“XXX オープン”が表示されます。

### 3. 2. 1 給紙デッキ（給紙デッキ1オープン、給紙デッキ2オープン）

給紙デッキをしっかりと閉めて“給紙デッキ1（給紙デッキ2\*）オープン”を解除してください。

\* “給紙デッキ2オープン”は、オプションの給紙トレイが付いている場合に表示されます。



### 3. 2. 2 エンジン部

エンジン部をしっかりと閉め、“ドアオープン”を解除してください。

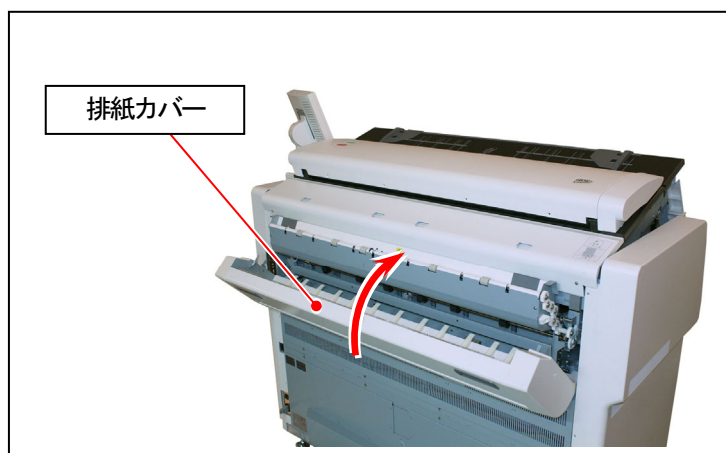


#### ⚠ 注意

エンジン部のインターロックスイッチは左右に付いています。  
他のドアがしっかりと閉じられているにもかかわらず“ドアオープン”が表示される場合は、エンジン部の左右どちらかが開いている可能性があります。  
この場合はエンジン部を開けてから、再度しっかりと閉め直してください。

### 3. 2. 3 排紙カバー（排紙部ドアオープン）

排紙カバーをしっかりと閉め、“排紙部ドアオープン”を解除してください。



### 3. 2. 4 スキャナーユニット（スキャナーカバーオープン）

スキャナーカバーをしっかりと閉め、“スキャナーカバーオープン”を解除してください。



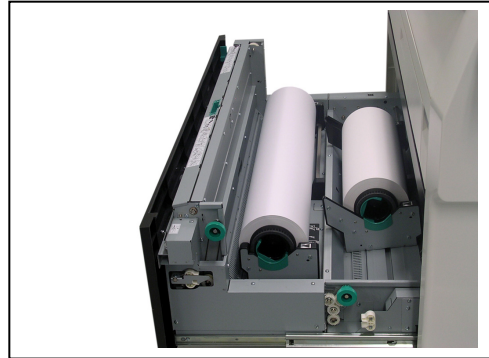


## 3. 3 その他のエラー

### 3. 3. 1 ロール紙交換

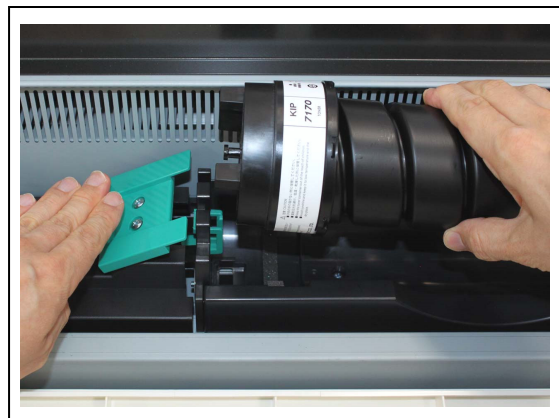
以下の場合に、UI 操作部に「ロール紙交換」メッセージが表示されます。

- ・使用中のロール紙を使い切ったとき
  - ・プリンタが処理中のプリントジョブに対して適切なロール紙がセットされていないとき
- ロール紙の補給、セット方法は「2.3 ロール紙を交換する」を参照してください。



### 3. 3. 2 トナー補給

トナーカートリッジのトナーがなくなると、UI 操作部に「トナー補給」メッセージが表示されます。「2.4 トナーカートリッジを交換する」を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。



### 3. 3. 3 接続機器エラー

オートスタッカーや折り機などの接続機器にエラーが発生した場合は、各機器の取扱説明書を参照して、エラーを解除してください。

## 3. 4 サービスコールエラー

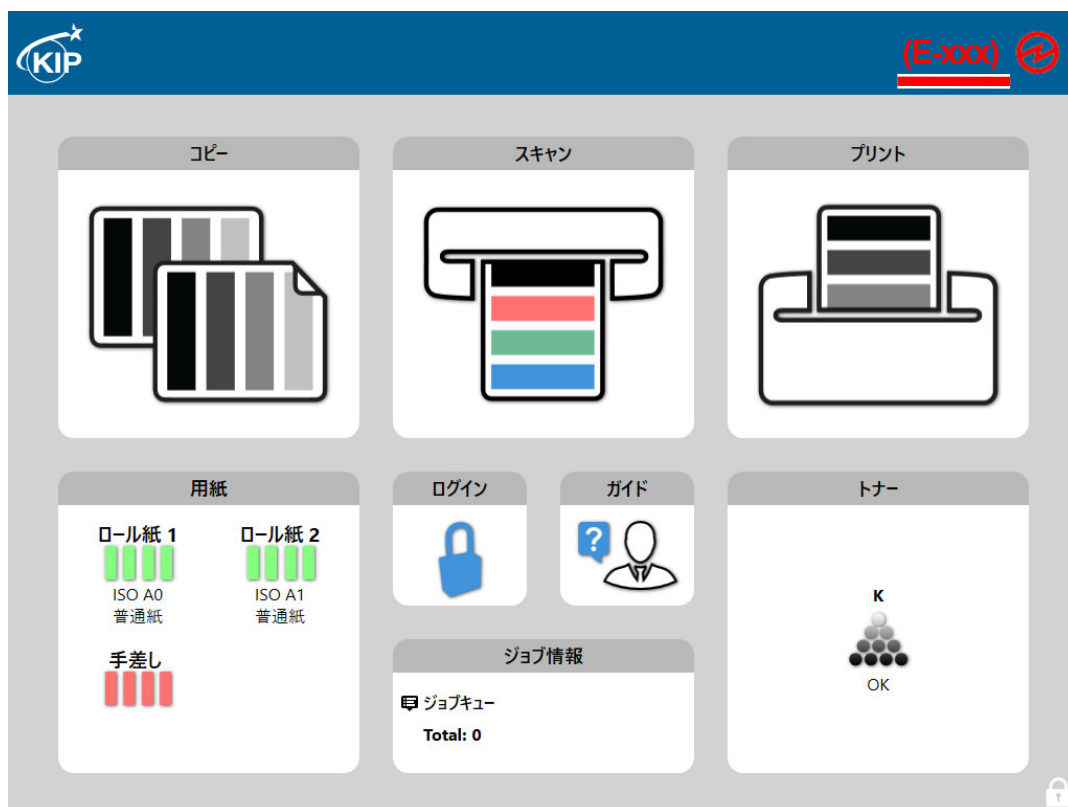
プリンタに何らかの重大なエラーが発生すると、UI 操作部にサービスコールエラー (E-XXX) を表示して動作を停止します。サービスコールエラーはサービスマンでないと解除できないため、すぐにサービスマンへ連絡してください。

サービスマンに連絡する前に、プリンタの電源を入れなおしてみてください。(これでエラーが解消できる場合があります。) もし、再度サービスコールエラーが表示されたら、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスマンに連絡してください。

サービスコールエラーには以下のようなものがあります。

- ・センサに関連するエラー
- ・モータに関連するエラー
- ・カッターに関連するエラー
- ・現像器に関連するエラー
- ・カウンターに関するエラー
- ・定着器の温度に関連するエラー
- ・高圧出力に関連するエラー

サービスコールエラー発生時にはUI 画面右上にエラーNo. が表示されます。



---

## 第四章      メンテナンス

---

	ページ
4. 1 スキャナー部 .....	4- 2
4. 1. 1 スキャンガラス、搬送ローラ、ガイド板の清掃 .....	4- 2
4. 1. 2 センサの清掃 .....	4- 5
4. 2 UI 操作部（タッチパネル） .....	4- 7

## 4. 1 スキャナー部

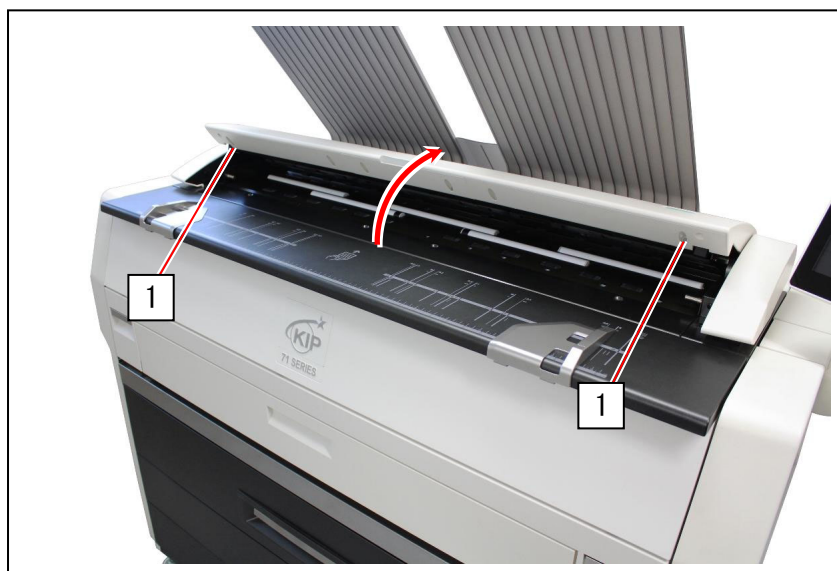
### 4. 1. 1 スキャンガラス、搬送ローラ、ガイド板の清掃

スキャンガラス、原稿搬送ローラー、ガイド板が汚れていると、コピー・スキャンの読み取りイメージに汚れが生じる場合がありますので、適宜清掃してください。

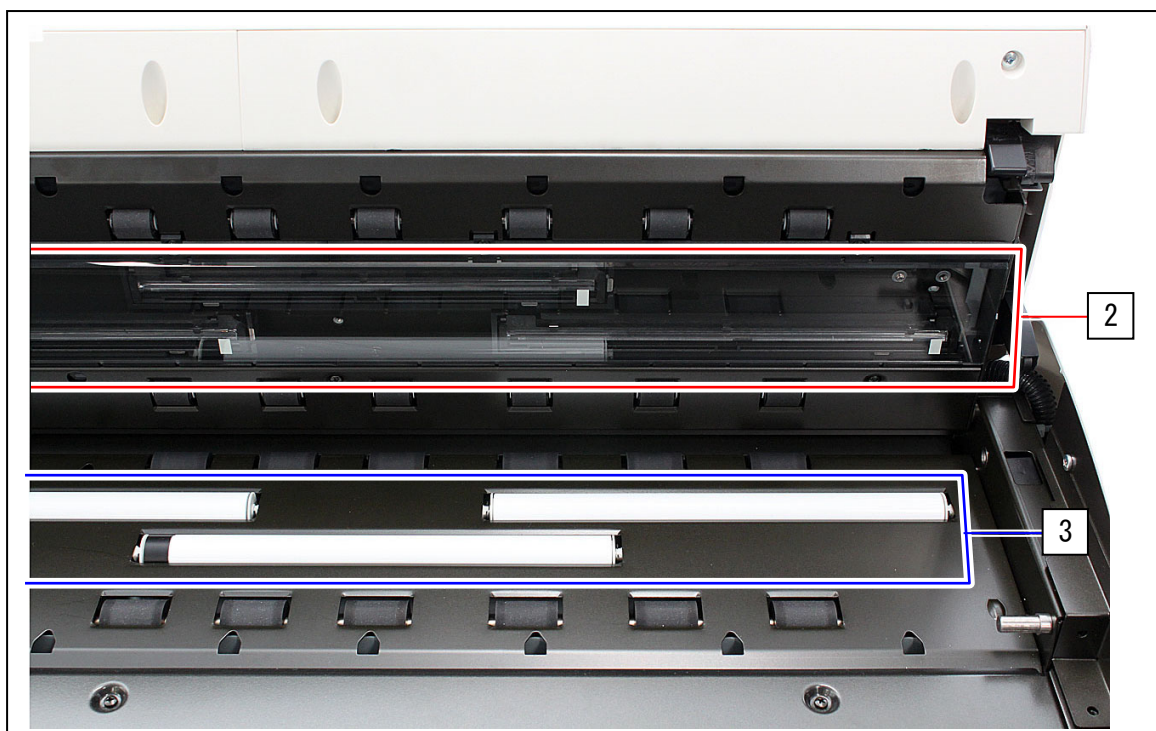
#### 注意

内部を見やすくするため、写真では上部ユニットを通常より大きく開いています。実際の開放角度とは異なります。

1. プリンターの電源を切ります。
2. スキャナーの両側(1)を持ち、押し上げてスキャナー部を開きます。



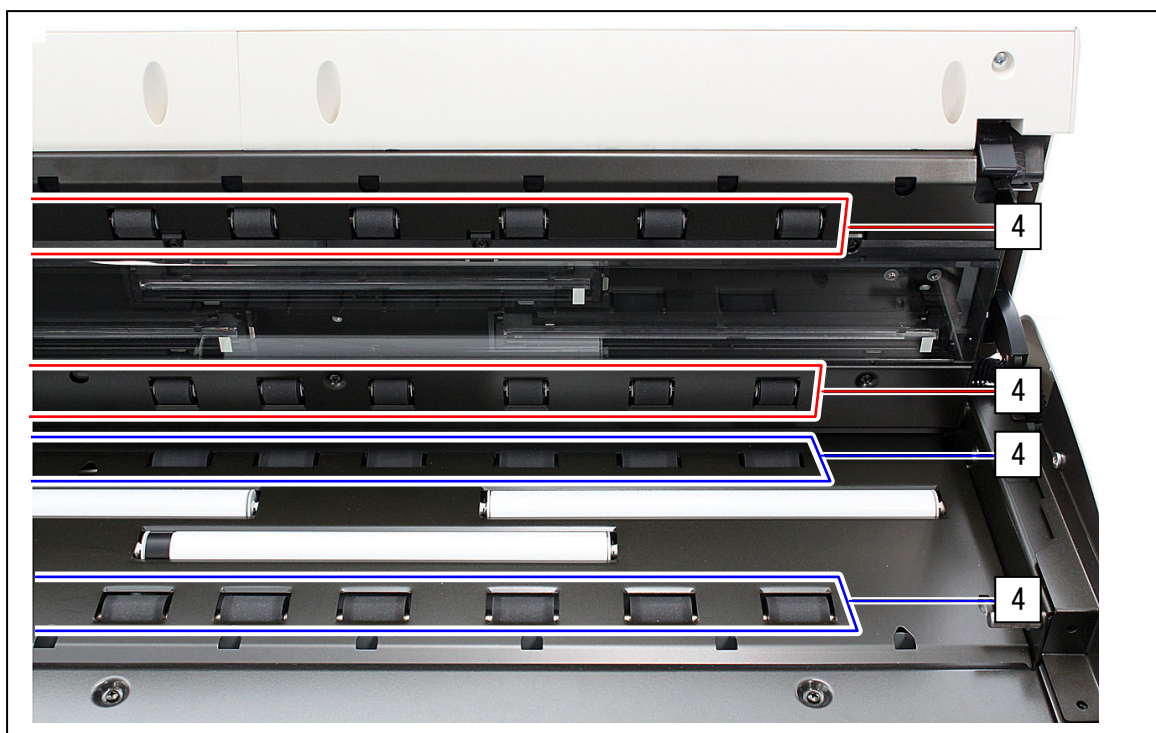
3. スキャンガラス(2)、原稿搬送ローラ(3)と内部表面は柔らかい布で拭いてください。  
必要に応じて、中性洗剤と水を1:1の割合で混ぜたものをクリーナーとして使用してください。



**⚠ 注意**

清掃の際、有機溶剤、ガラスクリーナー、静電気防止スプレーは使用しないでください。

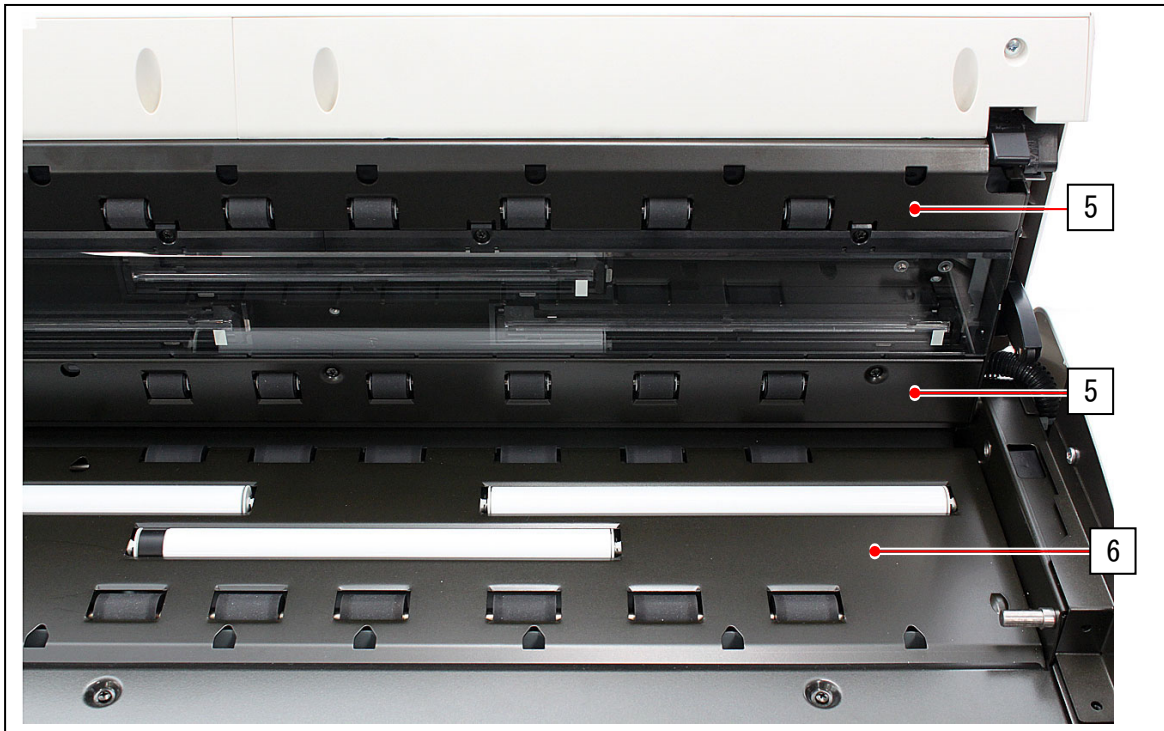
4. 搬送ローラ(4)と内部表面を柔らかい布で拭いてください。



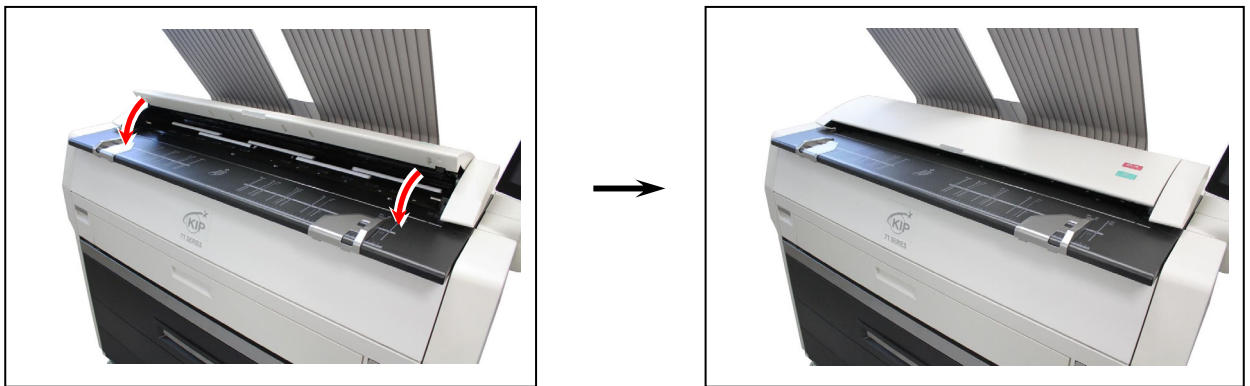
5. 拭いた部分をもう一度乾いた布で拭いて、水気を完全に拭き取ります。



6. 上部ガイド板(5)、下部ガイド板(6)を柔らかい布で拭きます。



7. 静かにスキャナー部の両側を押し下げて閉めます。



**⚠ 注意**

スキャナユニットの両側を静かに押しつけて閉めてください。  
片側のみを強く押しつけて閉めないでください。故障の原因となります。



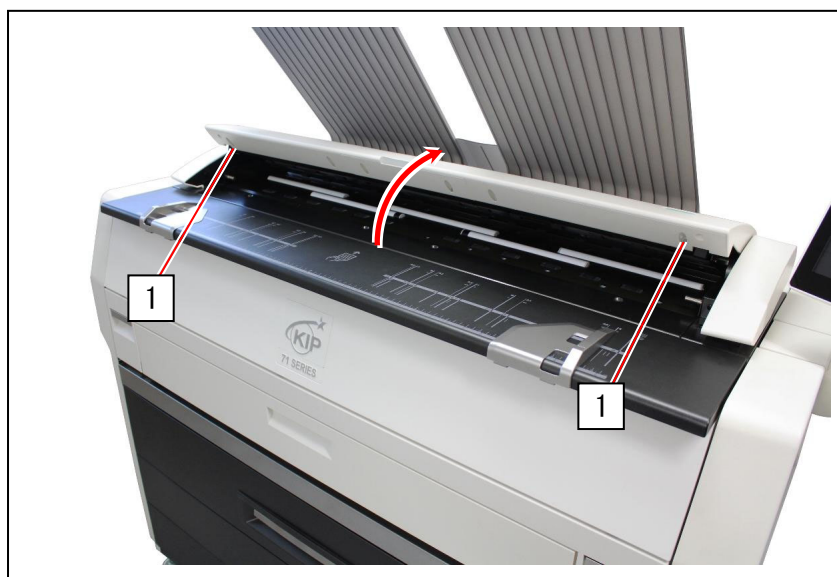
## 4. 1. 2 センサの清掃

センサにほこりや紙片が付着すると原稿が読み取れない場合がありますので、必要に応じて清掃してください。

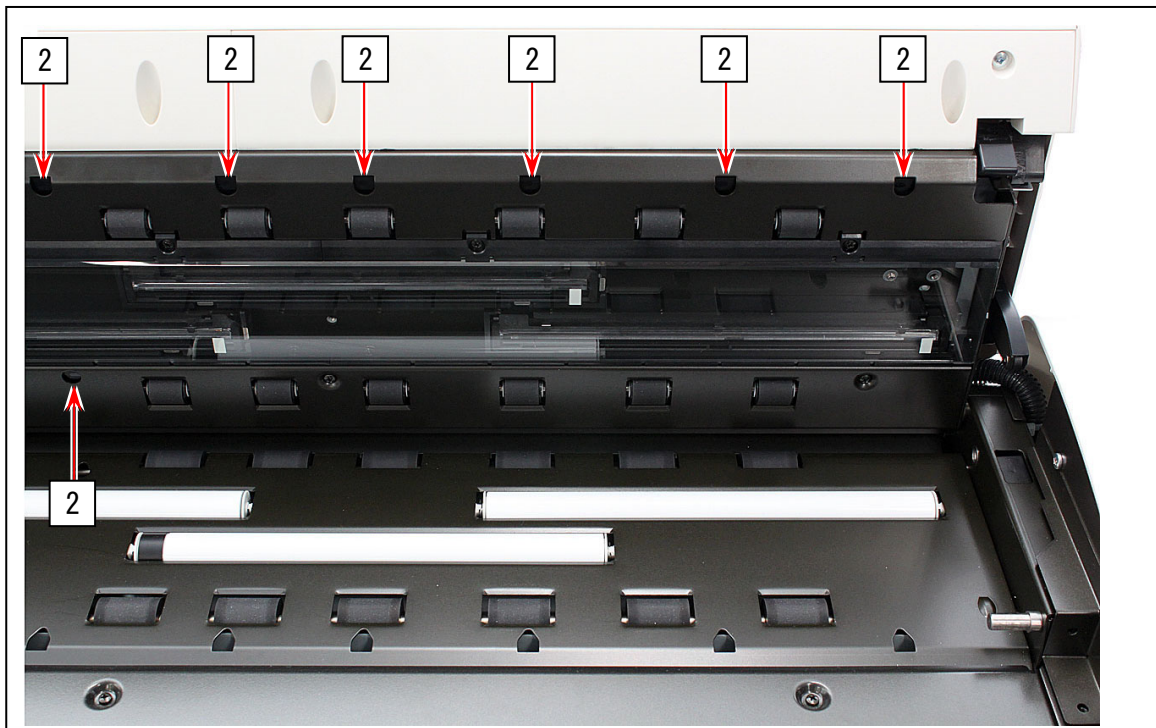
### 注意

内部を見やすくするため、写真では上部ユニットを通常より大きく開いています。実際の開放角度とは異なります。

1. プリンターの電源を切ります。
2. スキャナーの両側を(1)持ち、押し上げてスキャナー部を開きます。



3. センサ(2)を綿棒で拭きます。



**!** 注意

清掃の際、有機溶剤、ガラスクリーナー、静電気防止スプレーは使用しないでください。

4. 静かにスキャナー部の両側を押し下げて閉めます。



**!** 注意

スキャナユニットの両側を静かに押しつけて閉めてください。  
片側のみを強く押しつけて閉めないでください。故障の原因となります。

## 4. 2 UI 操作部（タッチパネル）

UI 操作部（タッチパネル）は、適宜清掃してください。

1. 乾いた布でUI 操作部（タッチパネル）を拭いてください。



### 注意

清掃の際、水、アルコール、有機溶剤、ガラスクリーナーは使用しないでください。

## 機器本体廃棄時の注意

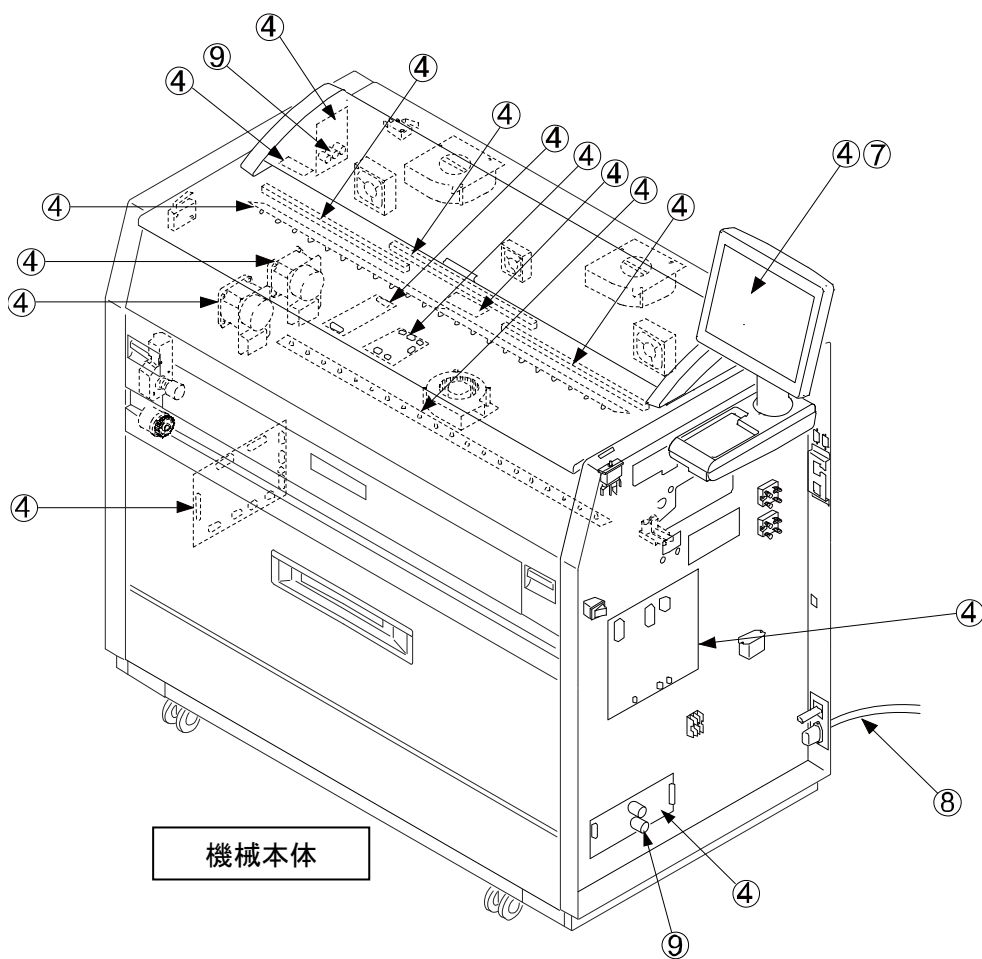
### 機器の回収後に除去しなければいけない部品の位置

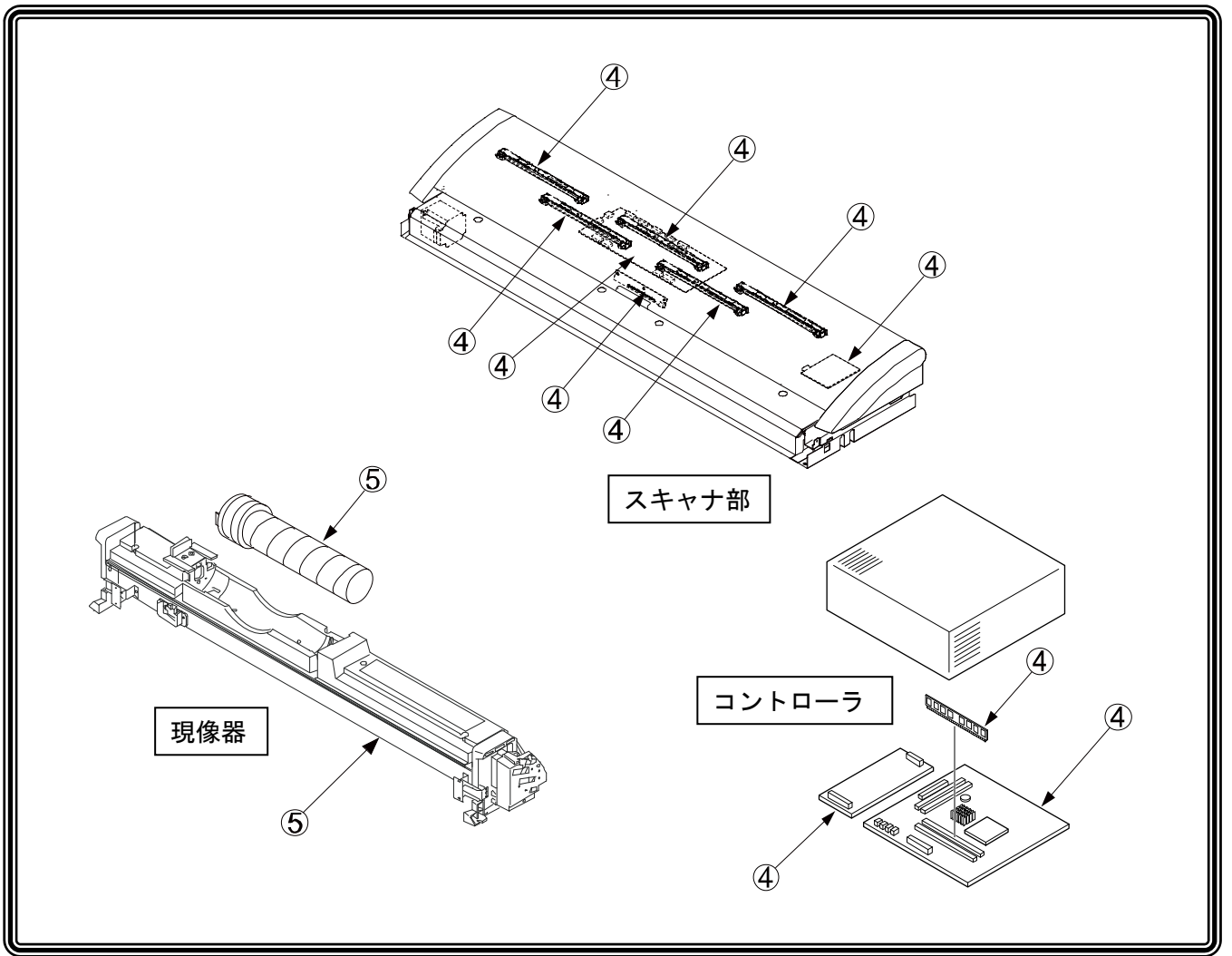
- ①. ポリ塩化ビフェニルおよびポリ塩化テルフェニル（PCB/PCT）の処分に関する指令 96/59/EC の意味での PCB を含むコンデンサ
- ②. バックライト用ランプのような水銀を含む部品
- ③. 電池
- ④. 面積が  $10\text{cm}^2$  を超えるプリント基板
- ⑤. トナーモジュール、粉末、ペースト、液体のトナー（カラートナーも含む）

### ⚠ 注意

爆発する恐れがありますので、トナーまたはトナーカートリッジを直接火中に投入しないでください。

- ⑥. 臭素系難燃剤を含むプラスチック部品
- ⑦. 面積が  $100\text{cm}^2$  を超える液晶表示パネル（場合によっては筐体付き）
- ⑧. 外部の電線
- ⑨. 問題物質を含むコンデンサ（高さ  $>25\text{mm}$ 、直径  $>25\text{mm}$  あるいは体積がこれに近いもの）





# ワイドフォーマット マルチファンクションプリンター

## KIP 7170G 取扱説明書

Ver. A.0 2022.12.26

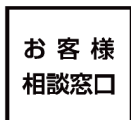


### お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

## 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒540-0004 大阪府大阪市中央区玉造 1 丁目 2 番 37 号  
<https://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



# 0570-046562

受付時間  
● 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00  
(土日祝および当社指定休日除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

製造・発行元 桂川電機 株式会社

〒146-8585 東京都大田区下丸子 4 丁目 21 番 1 号

<http://www.kiphq.co.jp>

© 2022 KATSURAGAWA ELECTRIC CO., LTD.

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

機械の改良変更などにより、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。